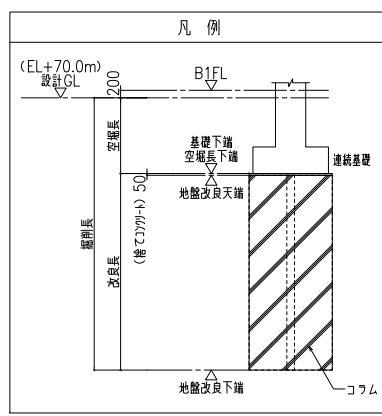


※既存調査
B. No. 1
GH = 71.83m
Dep. = 15.00m



地盤改良伏図共通事項

特記なき限り下記による
 ・設計GL=EL+70.0mとする。
 ・B1FL=設計GL+0.20m=EL+70.2mとする。
 ・空掘長下端レベルは、B1FL-2200とする。
 ・印部の空掘長下端レベルは、B1FL-2900とする。
 ・改良下端レベル=空掘長下端レベルとする。
 ・印部コムの地盤改良下端レベルは、B1FL-3.7mとする。
 ・印部コムの地盤改良下端レベルは、B1FL-7.4mとする。
 ・支持層は、強風化凝灰岩 (L-1)F 層とする。
 ・支持層により改良下端レベルを変更する場合は監督員と協議の上、決定の事。
 ・地盤改良の施工に先立ち、ボーリング調査、地盤の状況が把握出来る箇所にて試験施工 (本設策用) を実施し、監督員と協議の上、本現場の支持層管理基準を決定する。
 [1] 本現場における土質及びN値と地盤改良との相関関係を把握する。
 [2] 改良深さ (支持層深さ)。
 [3] 掘削抵抗 (トルク値及び電流値)。
 [4] 貫入速度の変化。
 ●は試験施工の箇所 (計6箇所) を示す。

特記なき限り下記による
 ・設計GL=EL+70.0mとする。
 ・B1FL=設計GL+0.20m=EL+70.2mとする。
 ・基礎天端レベルは、B1FL-250とする。
 ・基礎番号は、CF20とする。
 ・基礎下端レベルは、B1FL-2200とする。
 ・印部の基礎下端レベルは、B1FL-2900とする。
 ・湧き=連続基礎とする。
 ・基礎梁の表りは、湧きとする。
 ・基礎小梁位置は、湧きスパンの均等割り位置とする。
 ・内数値は、B1FLからの床天端レベルを示す。
 ・()内数値は、B1FLからの梁天端レベルを示す。
 □印部は、床面口を示す。
 ○印部は、床面口を示す。
 ⊗印部は、打撃コンクリートを示す。
 ⊠印部は、近接し、型枠の設置が困難な場合は、捨て型枠 (軽量ブロックフォーム等) を使用する。

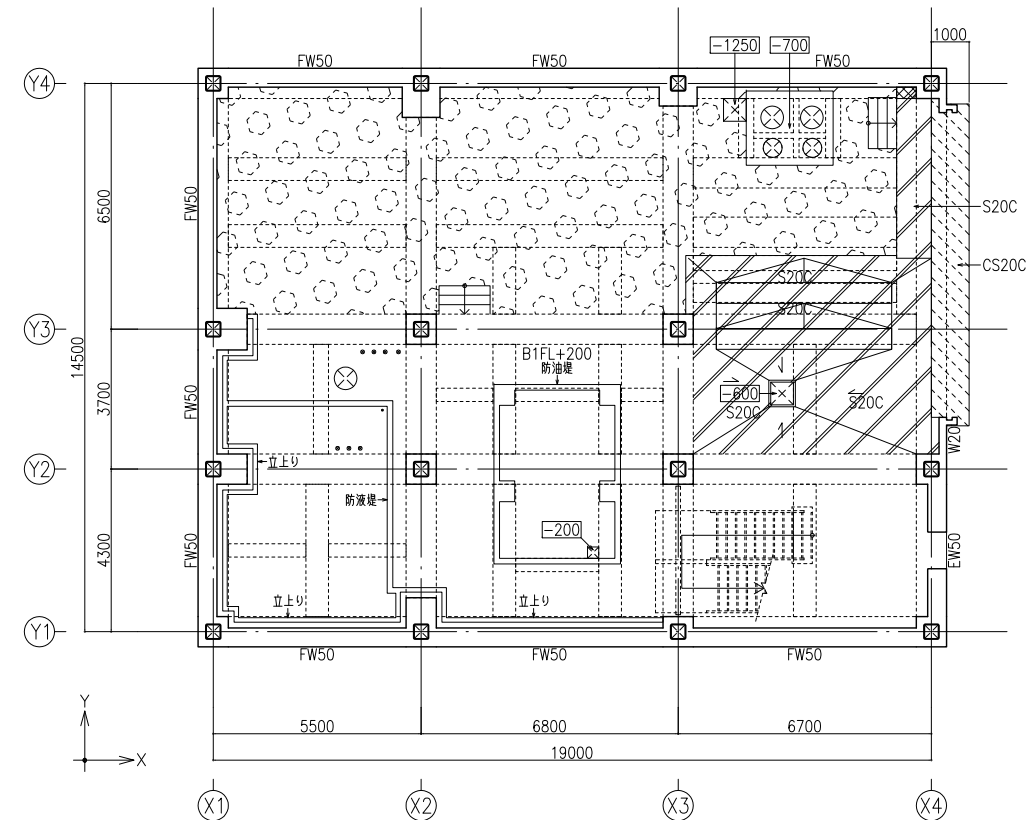
工法	エスキコウム工法
設計基準強度	Fc=950kN/m ²
改良径	φ1200

記号	基礎符号	掘削長 (m)	空掘長 (m)	改良長 (m)	本数 (本)	備考
○	CF20	3.5	2.0	1.5	52	
○	CF20	7.2	2.0	5.2	106	
●	CF27	3.5	2.7	0.8	42	
●	CF27	7.2	2.7	4.5	44	
					合計	244

国東サテライトセンター整備事業 (設計・プラント工事)			
APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1	K60940	伏図-1 (地盤改良伏図、基礎・基礎梁伏図)
	200	CUSTOMER	
CHECK	DRAWN BY	MODEL	DWG. No.
奥村	安立		RJA3-W0353

DATE	REFERENCE No.
'23.11.30	S-041
CADファイル名 AUTOCAD	

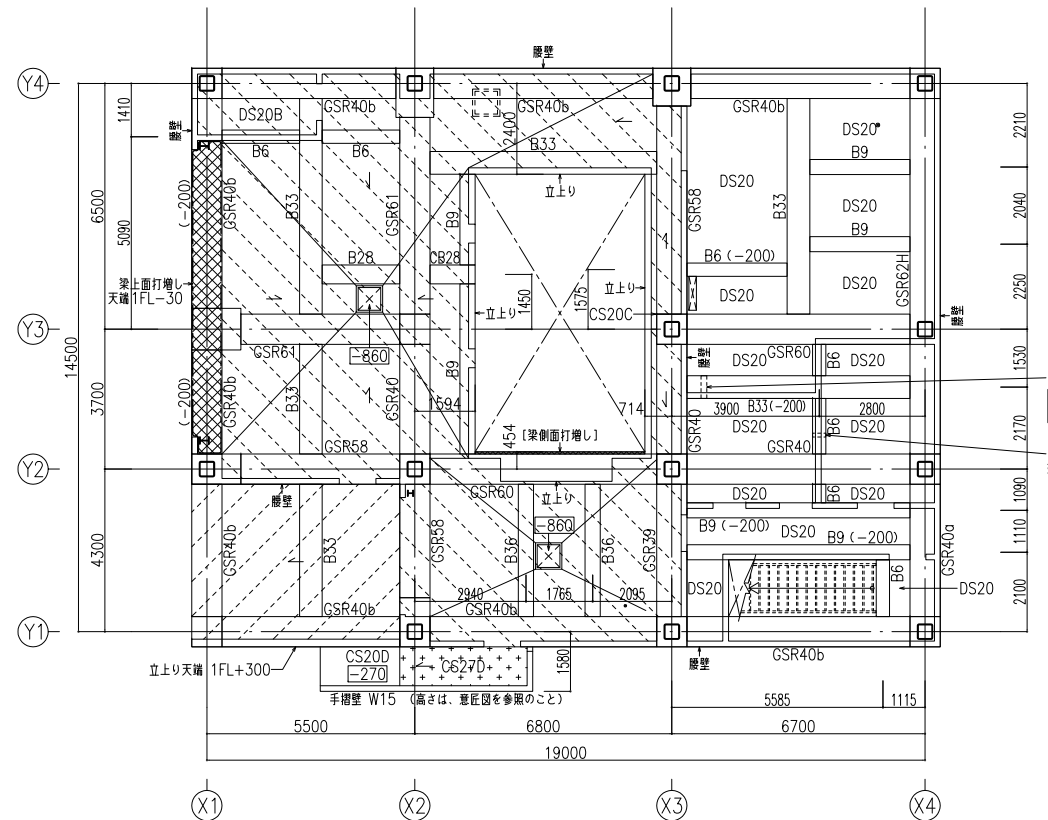




地下1階床伏図

特記なき限り下記による。
 設計GL=EL+70.0mとする。
 B1FL=設計GL+0.20m=EL+70.2mとする。
 スラブ天端レベルは、B1FL±0とする。
 スラブ厚さは、S20Rとする。
 ()内数値は、1FLからの床天端レベルを示す。
 立上り及び降流管の嵩さは、B1FL+150とする。
 印部は、床開口を示す。
 印は、床勾配方向を示す。
 構造スラブ上に床勾配用打増しがある場合は、専任図参照の事。
 印部は、打増しコンクリートを示す。
 機械基礎については、専任図を参照の事。

特記なき限り、スラブ天端レベルは下記とする。
 印部のスラブ天端レベルは、B1FL-50とする。
 印部のスラブ天端レベルは、B1FL-200とする。
 印部のスラブ天端レベルは、B1FL-900とする。



1階床梁伏図
(1FL=B1FL+6000)

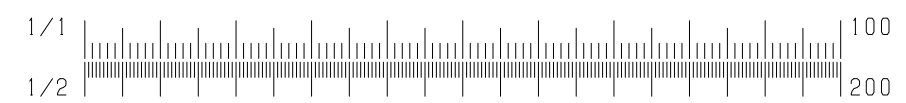
特記なき限り下記による。
 スラブ天端レベルは、1FL±0とする。
 スラブ厚さは、DS20Cとする。
 GSRBの印部天端レベルは、1FL±0とする。
 ()内数値は、1FLからの床天端レベルを示す。
 ()内数値は、1FLからの梁天端レベルを示す。
 小梁位置は、通りスパンの均等割り位置とする。
 欄間符号はW15とする。
 欄間及び欄間柱脚の天端レベルは、1FL+900とする。
 立上りの嵩さは、1FL+200とする。
 印部は、床開口を示す。
 印は、床勾配方向を示す。
 構造スラブ上に床勾配用打増しがある場合は、専任図参照の事。
 印部は、打増しコンクリートを示す。
 機械基礎については、専任図を参照の事。

特記なき限り、スラブ天端レベルは下記とする。
 印部のスラブ天端レベルは、1FL-200とする。
 GSR, B, CB梁天端レベルは、1FL-200とする。
 印部のスラブ天端レベルは、1FL-270とする。
 GSR, B梁天端レベルは、1FL-350とする。
 印部のスラブ天端レベルは、1FL-200とする。

スリーブ孔150φ
 梁貫通孔の補強形式、配筋種別H5
 斜め筋4-2-D16、縦筋4-2-D13
 横筋2-2-D13、上下縦筋3-2-D13

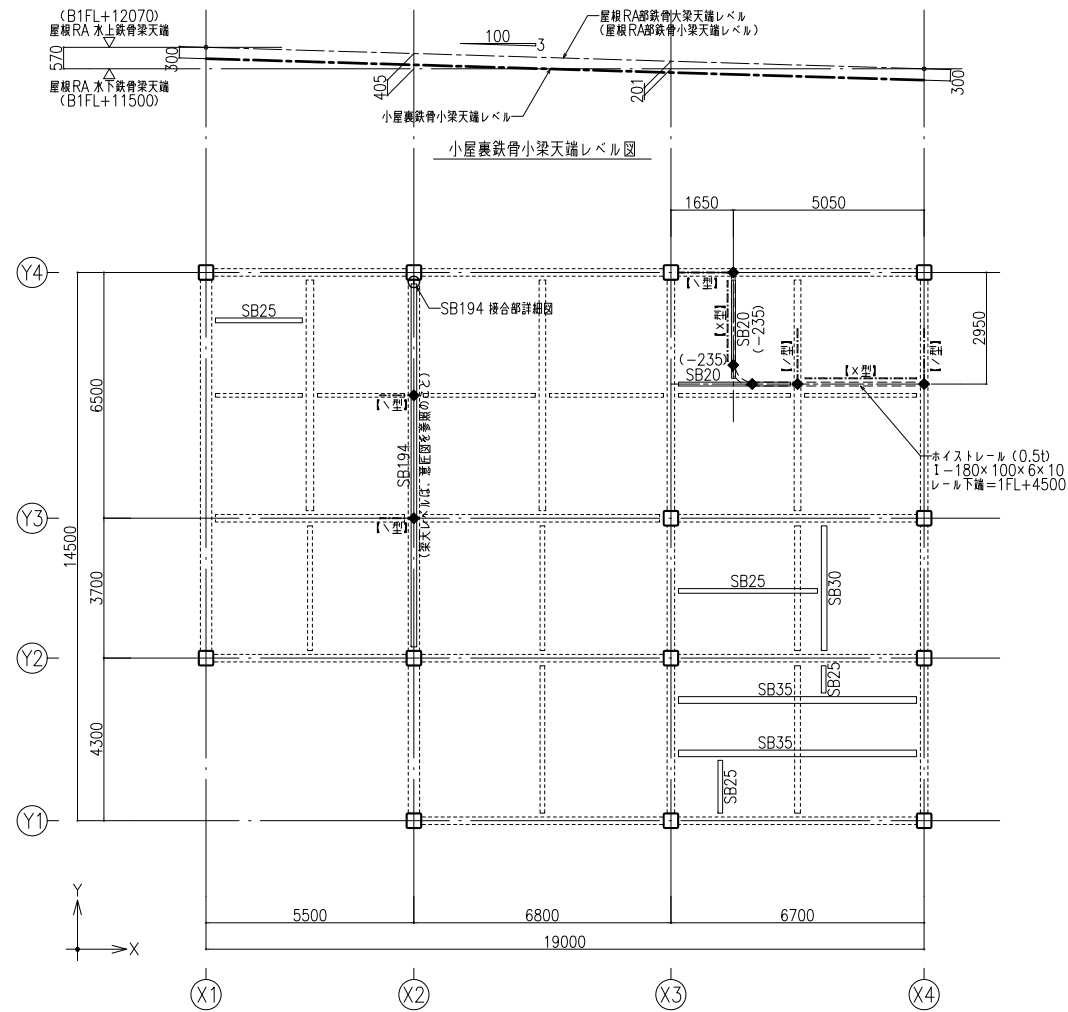
スリーブ孔100φ
 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(11)
 7.2梁貫通孔の補強形式による

国東サテライトセンター整備事業(設計・プラント工事)			
APPROVED	SCALE 1 200	ORDER K60940 CUSTOMER 宇佐・高田・国東広域事務組合	DRAWING NAME 伏図-2(地下1階床梁伏図、1階床梁伏図)
CHECK 奥村	DRAWN BY 安立	MODEL	DWG. No. RJA3-W0354



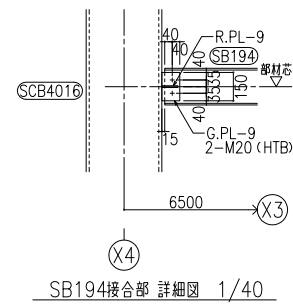
ShinMaywa Industries, Ltd.

DATE '23.11.30
 REFERENCE No. S-042
 CADファイル名 AUTOCAD

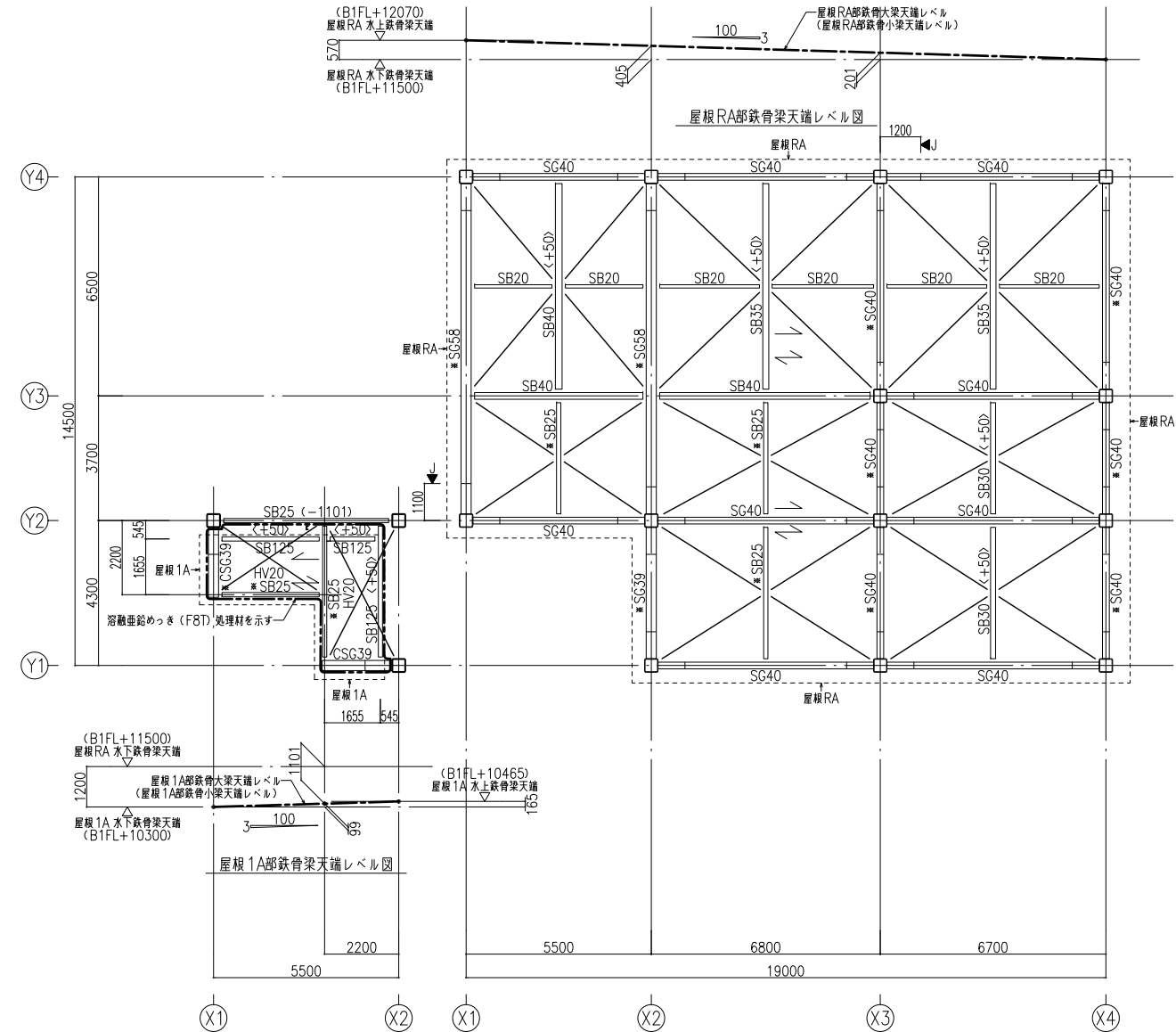


小屋裏梁伏図

- 特記なき限り下記による
- ・梁天端レベルは、小屋裏鉄骨小梁天端レベル図を参照する。
 - ・() 内数値は、屋根RA部下鉄骨梁天端からの梁天端レベルを示す。
 - ・< > 内数値は、取付く大梁及び小梁からの梁天端レベルを示す。
 - ・ALCを受ける小梁の位置は、現場にて調整を行う。
 - ・印は、ネイストレーン及び防振防止装置用レベルの取付位置を示し、
 吊材の部材符号は、T65を示す。
 - ・印は、軸ブレース及び方杖を示す。
 - ・[×型] 印は、軸ブレースV20を示す。
 - ・[ノ型] 及び [ノ型] 印は、方杖V65を示す。



SB194接合部 詳細図 1/40

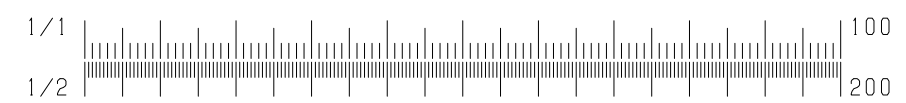


屋根梁伏図

(下鉄骨梁天端=B1FL+11500)

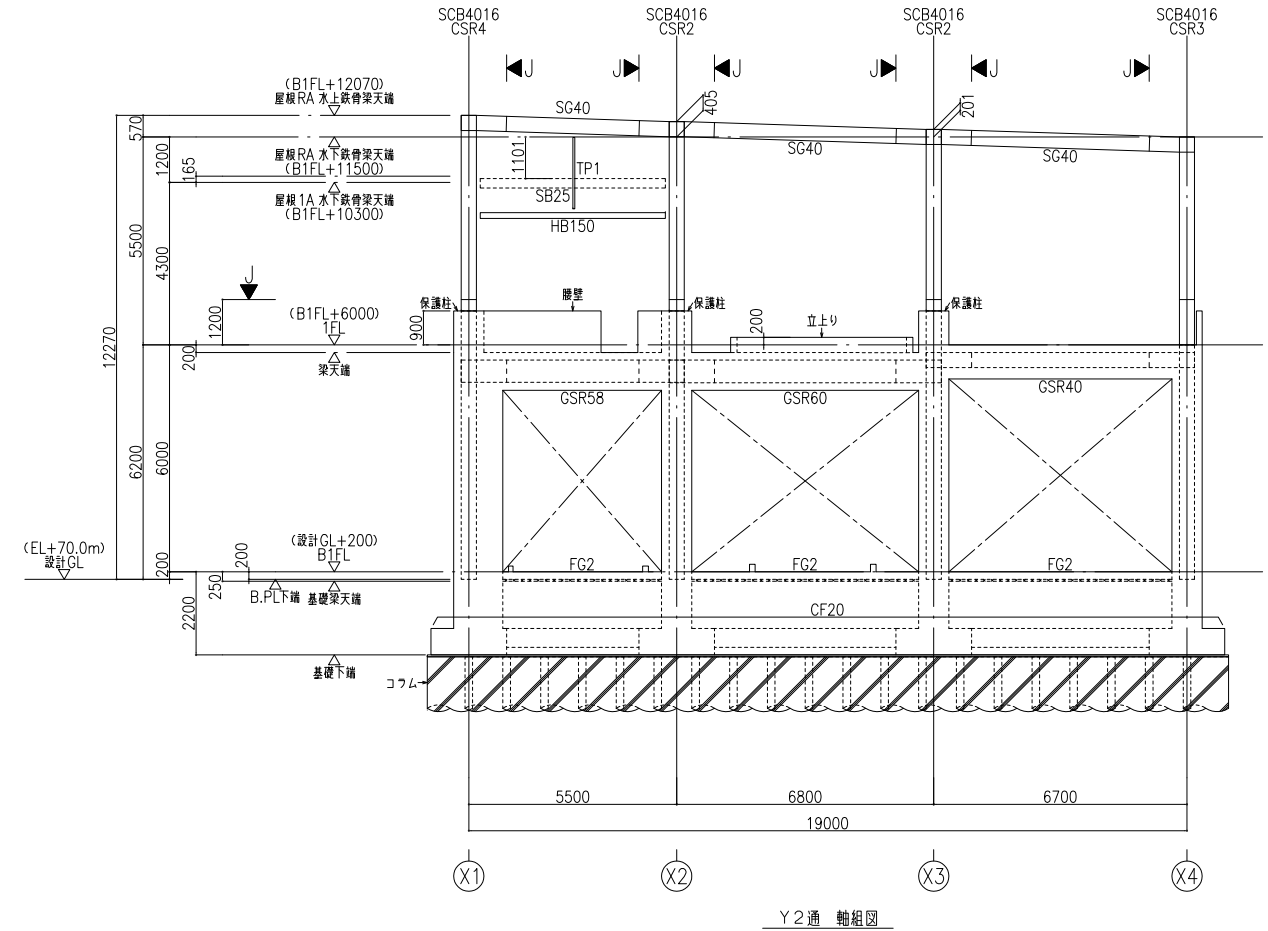
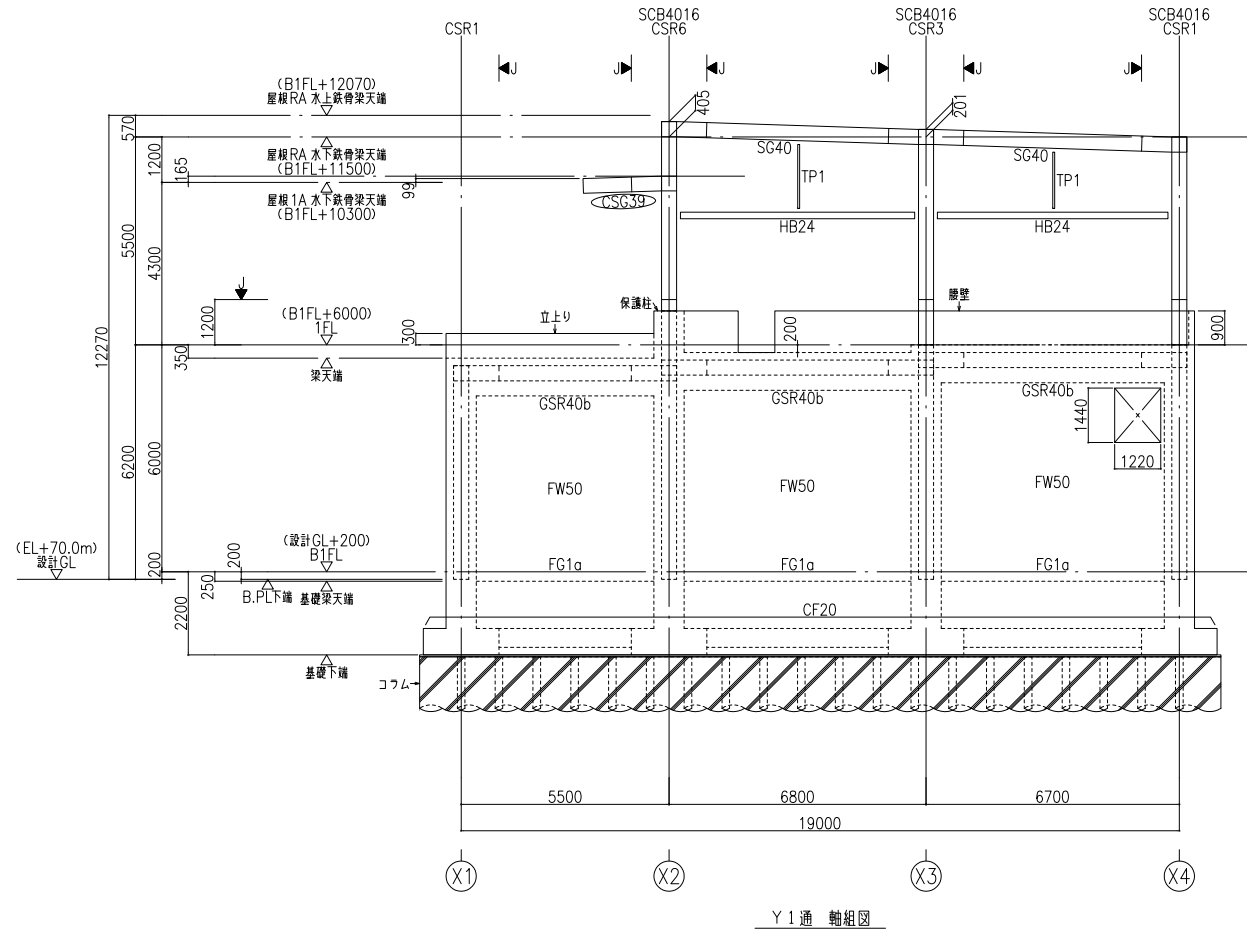
- 特記なき限り下記による
- ・屋根伏図の梁天端レベルは、屋根RA部鉄骨梁天端レベル図を参照する。
 - ・() 内数値は、屋根RA部下鉄骨梁天端からの梁天端レベルを示す。
 - ・< > 内数値は、取付く大梁及び小梁からの梁天端レベルを示す。
 - ・小梁位置は、通りスパンの均等割り位置とする。
 - ・水平ブレースの部材符号は、HV75とする。
 - ・屋根RA部の水平ブレースのG.PL天端レベルは、屋根RA部鉄骨梁天端レベル-125とする。
 - ・屋根1A部の水平ブレースのG.PL天端レベルは、屋根1A部鉄骨梁天端レベル-125とする。
 - ・印は、屋根勾配方向を示す。
 - ・印は、折板方向を示す。
 - ・印は、屋毛位置を示す。
 - ・鉄骨梁の継手位置は、通りより1000とする。
 - ・印付の部材符号は、折板受付材(継ぎ)を認める。
 - ・折板受付材は、C-100x50x20x3.2 (SSC400) とする。

国東サテライトセンター整備事業(設計・プラント工事)			
APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1	K60940	伏図-3(小屋裏梁伏図、屋根梁伏図)
	200	CUSTOMER	
CHECK	DRAWN BY	MODEL	DWG. No.
奥村	安立		RJA3-W0355



ShinMaywa Industries, Ltd.

DATE	REFERENCE No.
'23.11.30	S-043
CADファイル名: AUTOCAD	



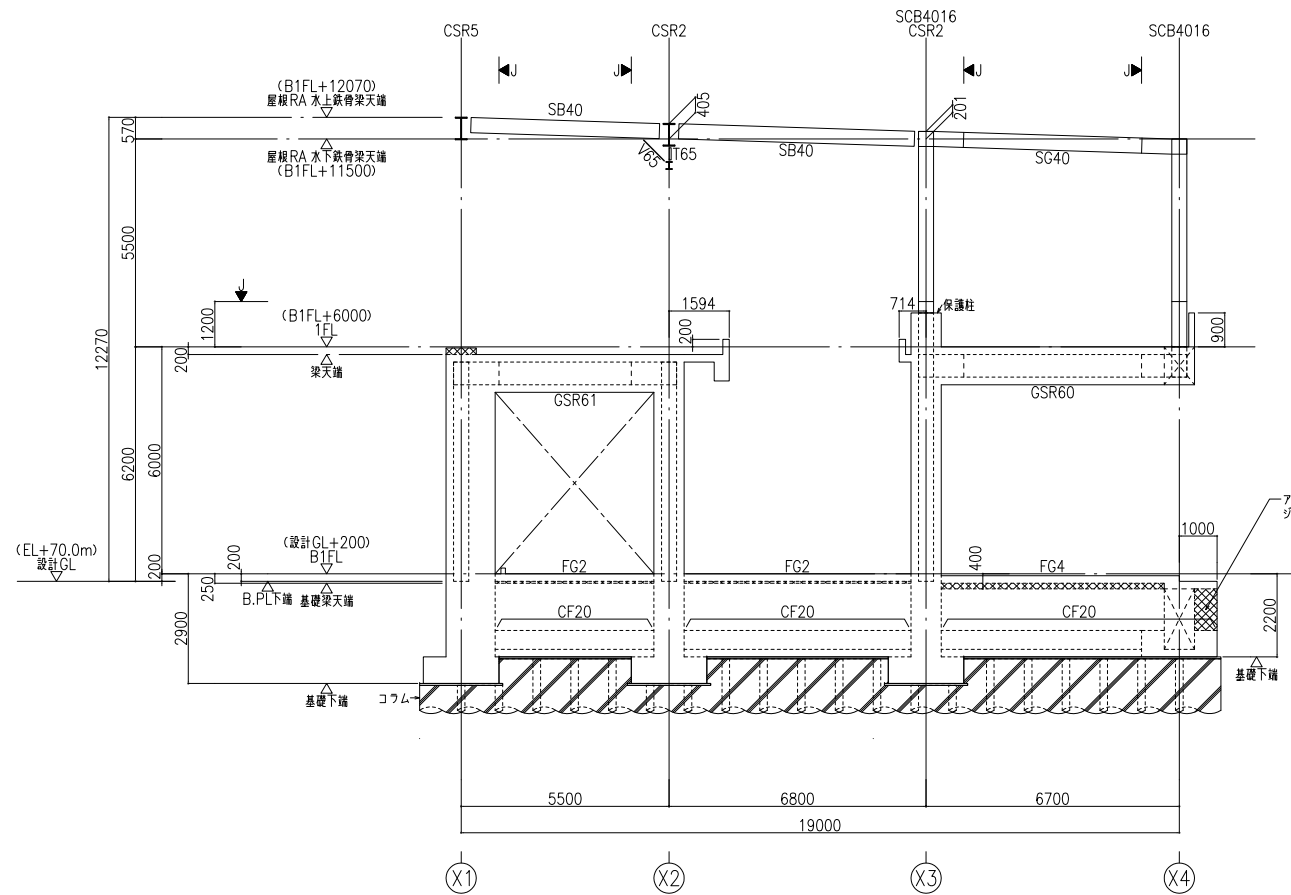
- 軸組図共通事項
- 特記なき限り下記による
 - 設計GL=EL+70.0とする。
 - ◀J印部は、継手位置を示す。
 - 鉄骨梁の継手位置は、通筋より1000とする。
 - 鋼製符号は、W15とする。
 - ◻印部は、開口を示す。
 - ◻印部は、打層コンクリートを示す。
 - ◻印部は、耐震スリットを示す。
 - ◻印部は、鋼管部材符号は、図面曲線のみ(E&T)処理材を示す。
 - ◻印部は、柱径変更範囲を示す。

国東サテライトセンター整備事業(設計・プラント工事)			
APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1	K60940	軸組図-1 (Y1通軸組図、Y2通軸組図)
	200	CUSTOMER	
CHECK		MODEL	DWG. No.
奥村	安立		RJA3-W0356

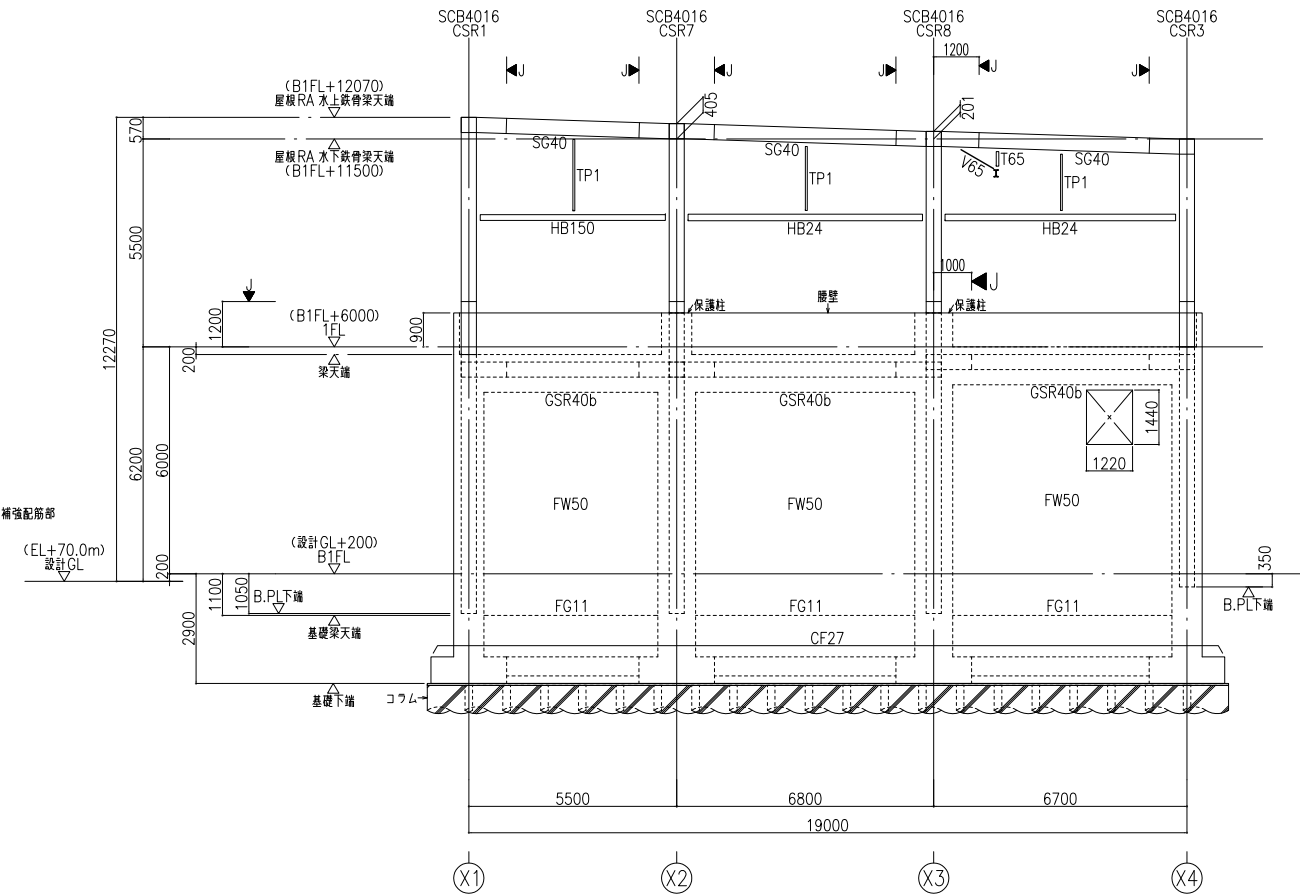


ShinMaywa Industries, Ltd.

DATE	REFERENCE No.
'23.11.30	S-044
CADファイル名 AUTOCAD	



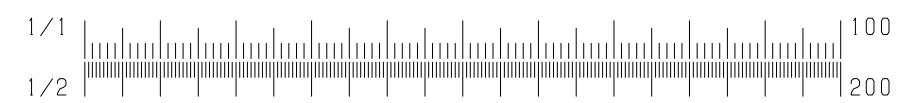
Y3通 軸組図



Y4通 軸組図

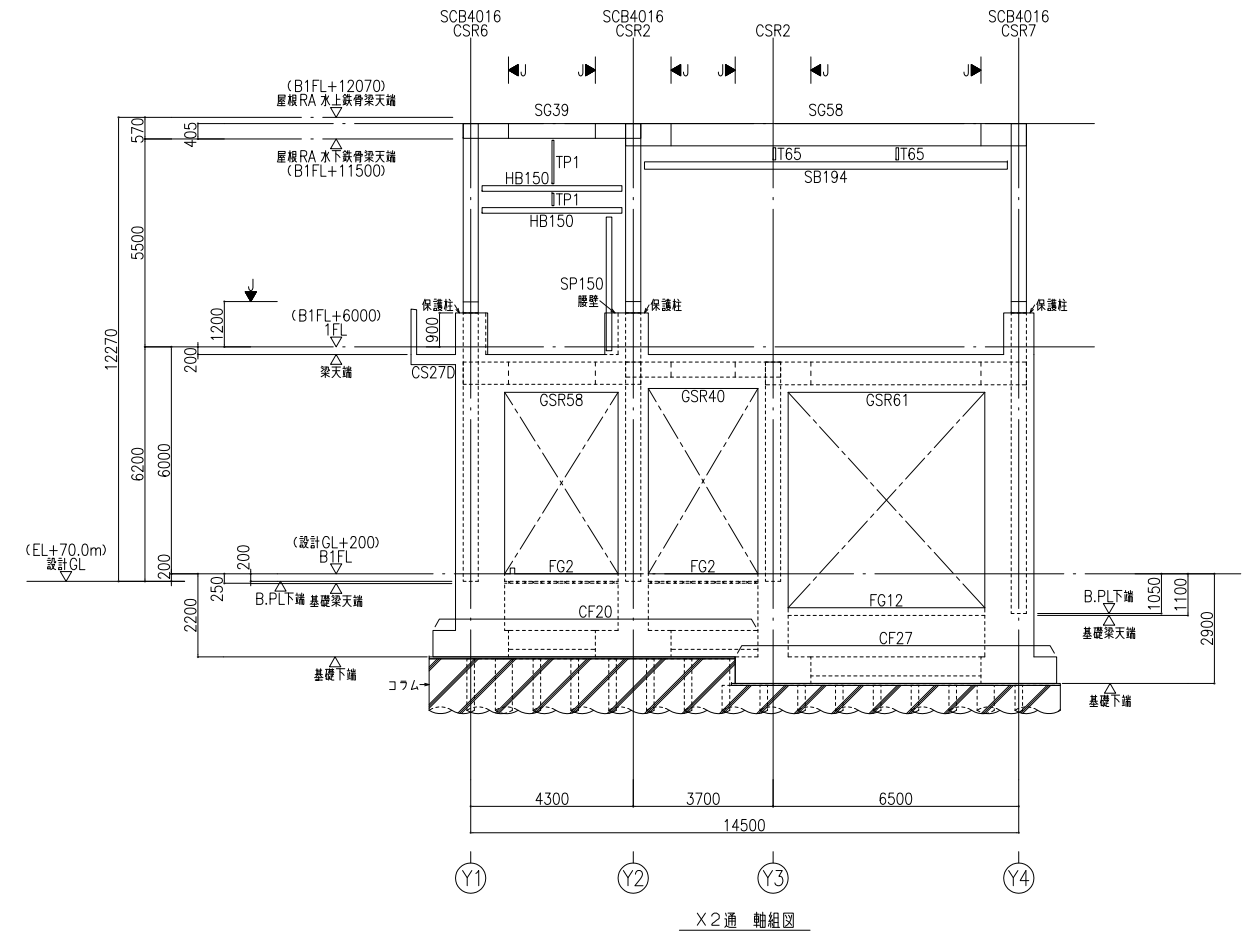
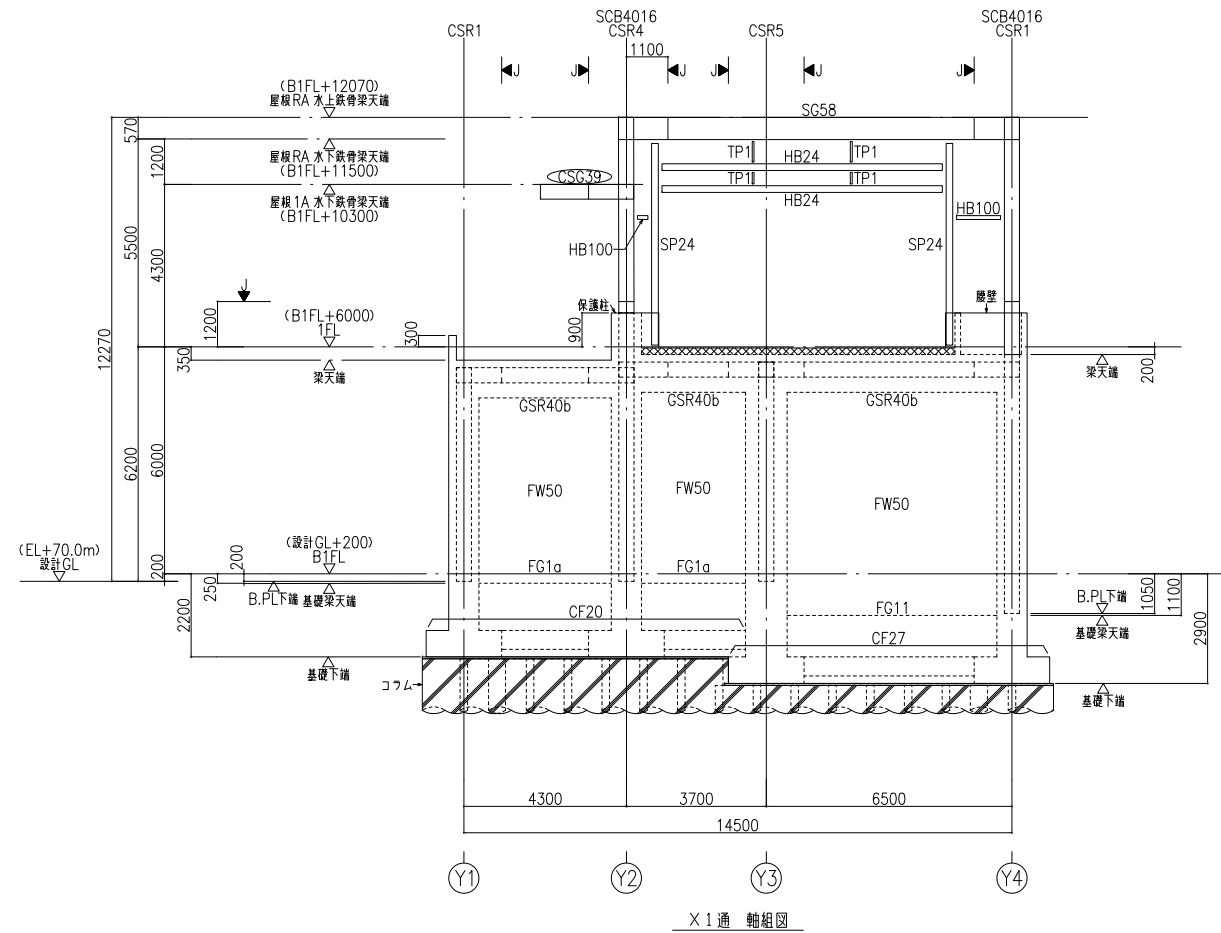
- 軸組図共通事項
- 特記なき限り下記による
 - 設計GL=EL+70.0とする。
 - ◀印は、継手位置を示す。
 - 梁継手の継手位置は、通筋より1000とする。
 - 梁型字は、W15とする。
 - 印は、開口を示す。
 - 印は、打層コンクリートを示す。
 - 印は、耐震スリットを示す。
 - 印は、鉄骨部材を示す。図面曲線のみ(E&T)処理材を示す。
 - 印は、柱改良範囲を示す。

国東サテライトセンター整備事業（設計・プラント工事）			
APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1	K60940	軸組図-2 (Y3通軸組図、Y4通軸組図)
	200	CUSTOMER	
奥村	安立	MODEL	DWG. No.
			RJA3-W0357



ShinMaywa Industries, Ltd.

DATE	REFERENCE No.
'23.11.30	S-045
CADファイル名: AUTOCAD	



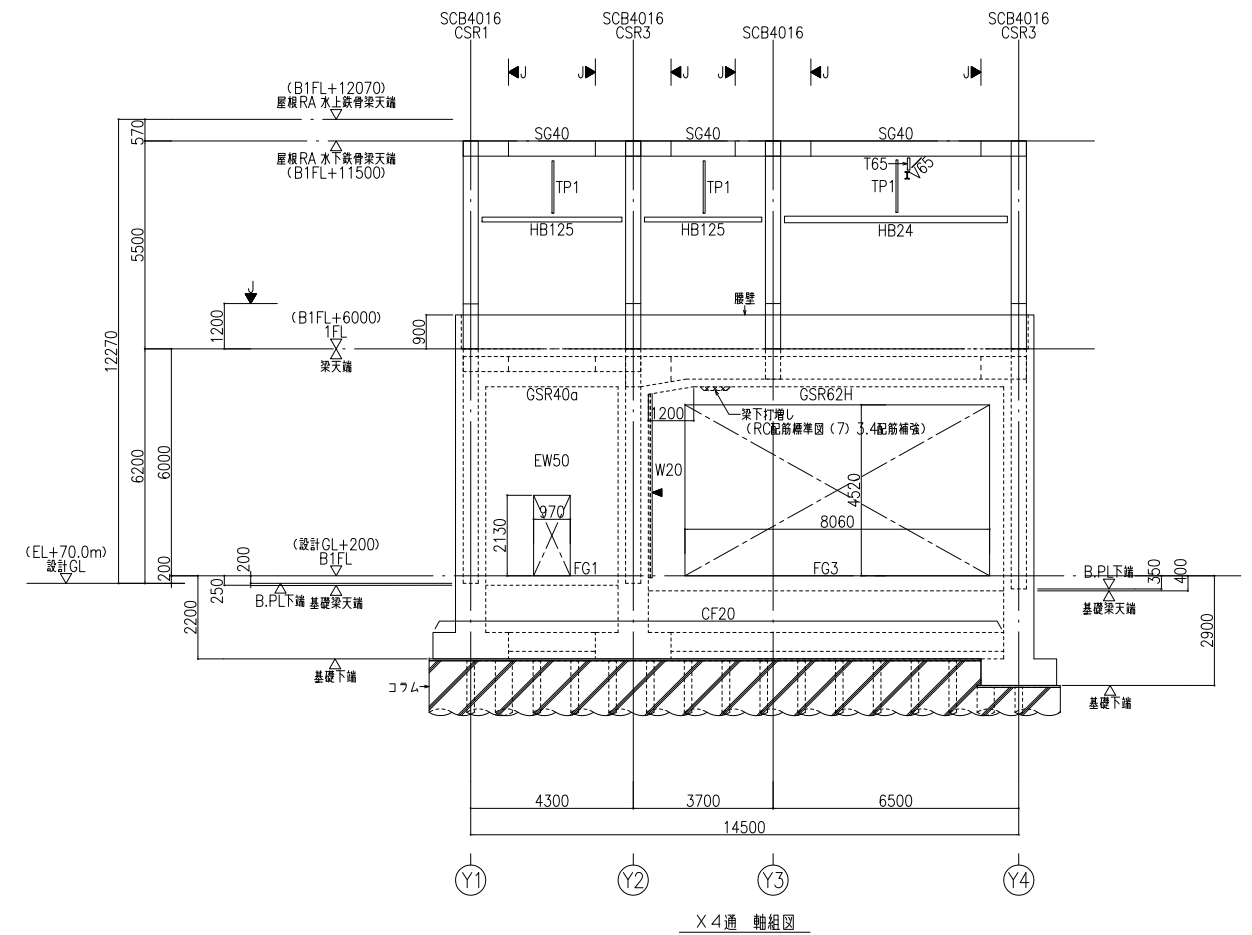
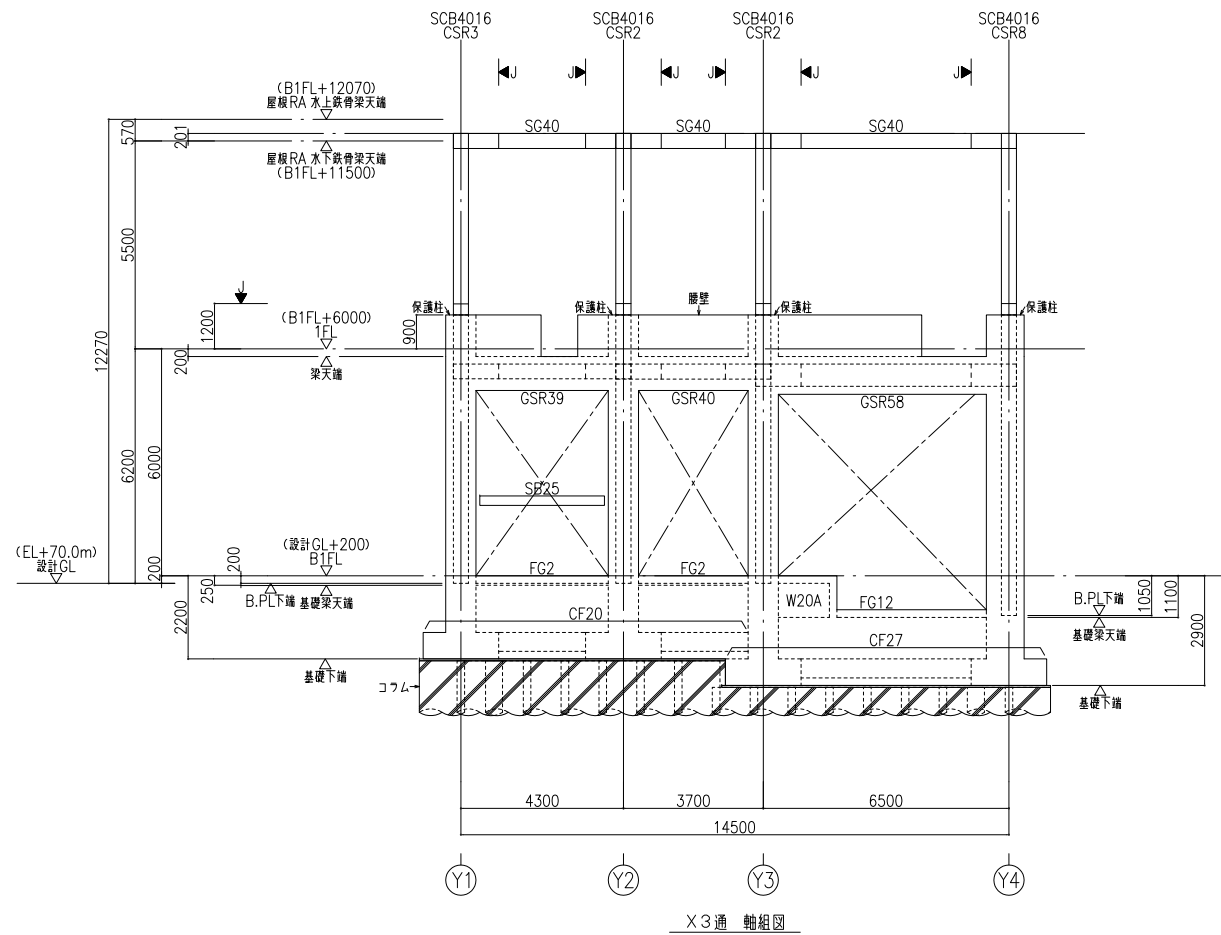
- 軸組図共通事項
- 特記なき限り下記による
 - 設計GL=EL+70.0とする。
 - ◀J印等は、継手位置を示す。
 - 梁継手の継手位置は、湧示より1000とする。
 - 梁型番は、W15とする。
 - □印等は、開口を示す。
 - ⊗印等は、打層レコングリートを示す。
 - ▲印等は、耐震スリットを示す。
 - ○印等は、鋼管束材を示す。沿軸垂線から(E&T)処理材を示す。
 - //印等は、柱改修範囲を示す。

国東サテライトセンター整備事業（設計・プラント工事）			
APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1	K60940	軸組図-3 (X1通軸組図、X2通軸組図)
	200	CUSTOMER	
奥村	安立	MODEL	DWG. No.
			RJA3-W0358



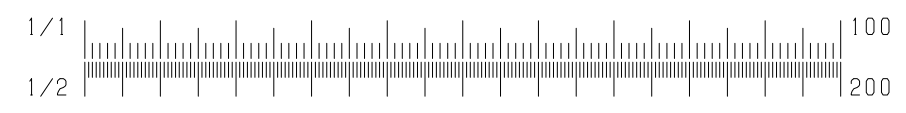
ShinMaywa Industries, Ltd.

DATE	REFERENCE No.
'23.11.30	S-046
CADファイル名: AUTOCAD	



- 軸組図共通事項
- 特記なき限り下記による
 - 設計GL=EL+70.0とする。
 - ▲印は、着手位置を示す。
 - ▼印は、着手位置を示す。
 - 梁の着手位置は、通称より1000とする。
 - 欄間符号は、W15とする。
 - 印は、開口を示す。
 - 印は、打埋れコンクリートを示す。
 - 印は、耐震スリットを示す。
 - 印は、鋼鉄骨部材を示す。図面曲線のみ(E&T)処理材を示す。
 - 印は、柱改修範囲を示す。

国東サテライトセンター整備事業(設計・プラント工事)			
APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1/200	K60940	軸組図-4 (X3通軸組図、X4通軸組図)
CHECK	DRAWN BY	MODEL	CUSTOMER
奥村	安立		宇佐・高田・国東広域事務組合 農
DWG. No.			RJA3-W0359

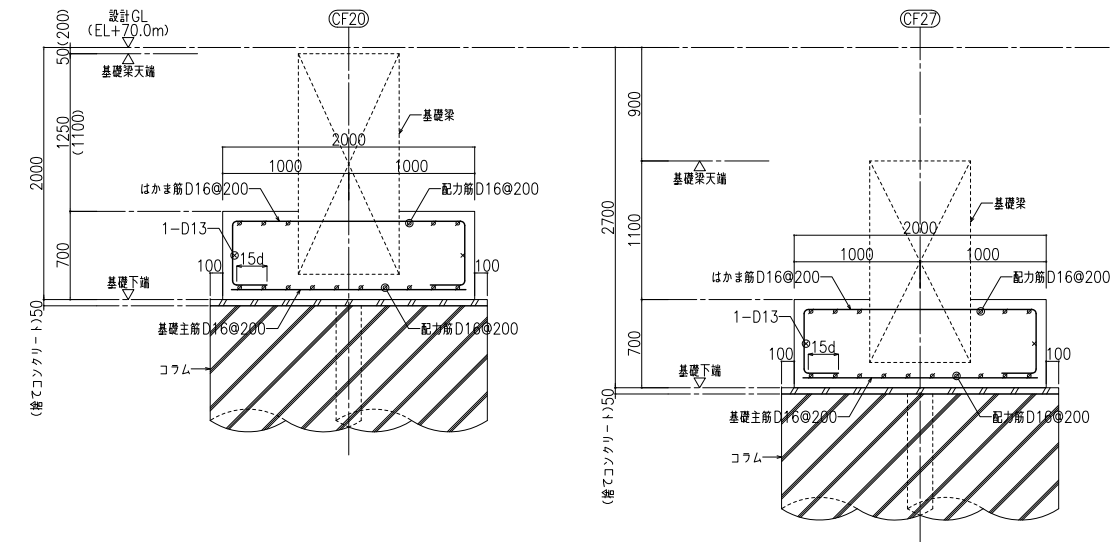


ShinMaywa Industries, Ltd.

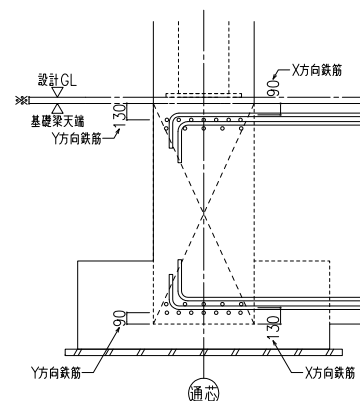
DATE '23.11.30 REFERENCE No. S-047
CADファイル名 AUTOCAD

連続基礎断面リスト 1/60

特記なき限り、() 内数値は、Y3通/X3-4通層及びX4通/Y2-4通層の連続基礎を示す。

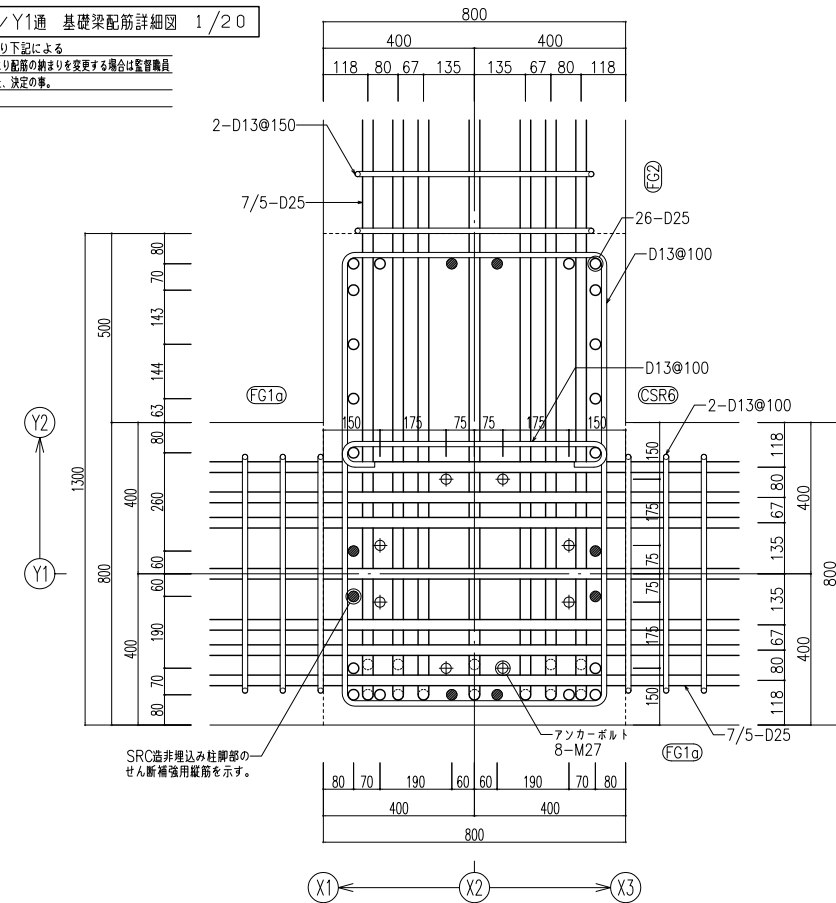


基礎梁鉄筋位置図 1/60



X2通/Y1通 基礎梁配筋詳細図 1/20

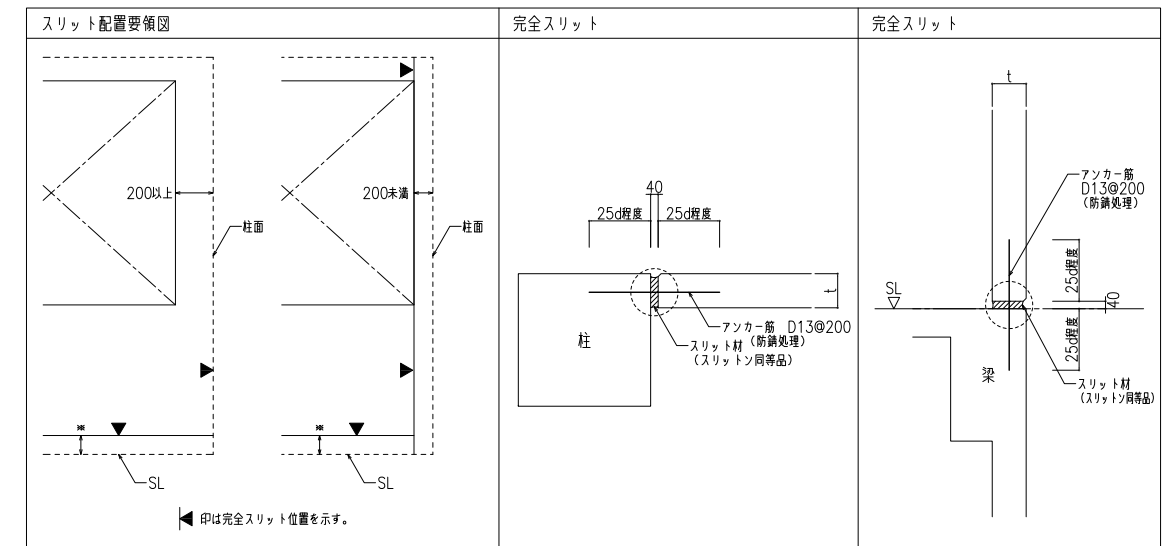
特記なき限り下記による。
・施工性により配筋の締めきりを変更する場合は監理員と協議の上、決定の事。



基礎梁断面リスト 1/60

特記なき限り、
・幅止め筋は、D10@1000以内とする。
・腰筋ねじれ補強筋の定着は、主筋と同等とする。

符号	FG1	FG1a	FG2	FG3
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
設計CL (EL+70.0m)				
B x D	800 x 1750	800 x 1750	800 x 1750	800 x 1600
上端筋	12 - D25	12 - D25	12 - D25	11 - D25
下端筋	12 - D25	12 - D25	12 - D25	11 - D25
あばら筋	□-D13 @150	□-D13 @100	□-D13 @150	□-D13 @150
腰筋	8 - D13	腰筋ねじれ補強筋 18 - D22	8 - D13	腰筋ねじれ補強筋 4 - D22
備考				腰筋 4 - D13
符号	FG4	FG11	FG12	
位置	全断面	全断面	全断面	
設計CL (EL+70.0m)				
B x D	800 x 1600	800 x 1600	800 x 1600	
上端筋	11 - D25	11 - D25	11 - D25	
下端筋	11 - D25	11 - D25	11 - D25	
あばら筋	□-D13 @150	□-D13 @100	□-D13 @100	
腰筋	8 - D13	腰筋ねじれ補強筋 18 - D22	8 - D13	
備考				



国東サテライトセンター整備事業（設計・プラント工事）

APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1/60	K60940	断面リスト-1
CHECK	DRAWN BY	CUSTOMER	(連続基礎、基礎梁、スリット要領図)
奥村	安立	宇佐・高田・国東広域事務組合	DWG. No.
			RJA3-W0360

DATE	REFERENCE No.
'23.11.30	S-048
	CADファイル名 AUTOCAD

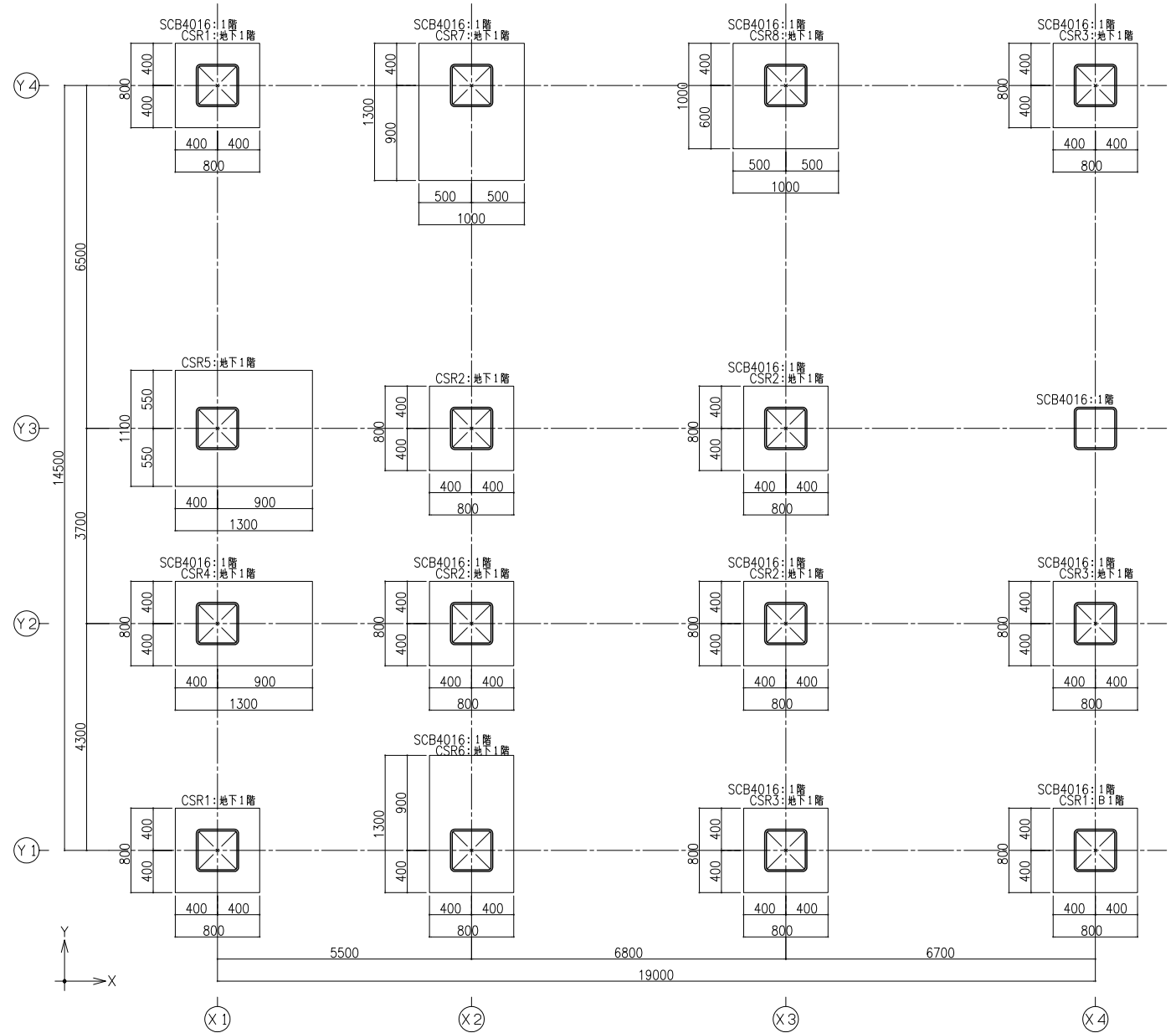


柱断面リスト 1/60

特記なき限り
 ・鉄骨材質はBCR295とする。
 ・角形鋼管内部は、コンクリート充填無しとする。
 ・印は、変位を表す。
 ・SRC造非埋込み柱脚部のせん断補強用縦筋の定着長さは3.0m以上とする。
 ・基礎梁と接続する柱梁接合部の帯筋は、「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(5)」図の2.2.(3)に準ずる。
 ・柱の方向は「芯寄図」を参照。
 ・印は、SRC造非埋込み柱脚部のせん断補強用縦筋を示す。

階	符号	CSR1 (柱頭)	CSR2 (柱頭)	CSR3 (柱頭)	CSR4 (柱頭)	CSR5 (柱頭)
B1	断面					
	(柱脚)					
	Dx × Dy	800 × 800	800 × 800	800 × 800	1300 × 800	1300 × 1100
主筋	柱頭	12 - D25	12 - D25	12 - D25	18 - D25	24 - D25
	柱脚	20 - D25	20 - D25	20 - D25	26 - D25	32 - D25
帯筋		□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100
鉄骨部材		□-400×400×16	□-400×400×16	□-400×400×16	□-400×400×16	□-400×400×16
SRC部の柱梁接合部 帯筋		□-D13 @300	□-D13 @300	□-D13 @300	□-D13 @140	□-D13 @140
備考						

階	符号	CSR6 (柱頭)	CSR7 (柱頭)	CSR8 (柱頭)	共通事項
B1	断面				
	(柱脚)				
	Dx × Dy	800 × 1300	1000 × 1300	1000 × 1000	
主筋	柱頭	18 - D25	22 - D25	16 - D25	
	柱脚	26 - D25	30 - D25	24 - D25	
帯筋		□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	
鉄骨部材		□-400×400×16	□-400×400×16	□-400×400×16	
SRC部の柱梁接合部 帯筋		□-D13 @140	□-D13 @140	□-D13 @200	
備考					



芯寄図 1/60
 特記なき限り下記による
 ・標準=RC柱石、鉄骨柱石、鉄骨梁とする。

国東サテライトセンター整備事業(設計・プラント工事)			
APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1/60	K60940	断面リスト-2 (柱、芯寄図)
CHECK	DRAWN BY	CUSTOMER	DWG. No.
奥村	安立	宇佐・高田・国東広域事務組合 農	RJA3-W0361
MODEL			DATE
			'23.11.30
			REFERENCE No.
			S-049
			CADファイル名: AUTOCAD



大梁断面リスト 1/60

特記なき限り
 ・鉄骨材質はSN400Bとする。
 ・幅止め筋は、D10@1000以内とする。
 ・主筋が交差する場合、X方向の主筋が上側となる様に配筋する。

階	符号	GSR40	GSR40a	GSR40b	GSR39	GSR58	GSR60	GSR61	GSR62H		共通事項	
位置		全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	Y2通端	中央・Y4通端		
1	断面											
	B x D	800 x 900	800 x 1000	800 x 1000	800 x 900	800 x 1000	800 x 1000	800 x 1000	800 x 1200	800 x 1000		
	上端筋	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25		
	下端筋	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25		
	あばら筋	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @100	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200		
	腹筋	4 - D10	4 - D10	腹筋ねじれ補強筋 12 - D22	4 - D10	4 - D10	4 - D10	4 - D10	6 - D10	4 - D10		
	鉄骨	H-400x200x8x13	H-400x200x8x13	H-400x200x8x13	H-390x300x10x16	H-588x300x12x20	H-600x200x11x17	SH-600x300x14x32	BH-800x300x16x28	BH-600x300x16x28		
	備考			腹筋ねじれ補強筋の定着は、主筋と同等とする								

基礎小梁及び小梁断面リスト 1/60

特記なき限り
 ・部材リストに無い部材番号は欠番とする。
 ・幅止め筋は、D10@1000以内とする。
 ・土に接しない小梁は、捨てコンクリート及び砕石は不要とする。

符号	FB6・B6	B9	B28	FB33・B33	FB33A	FB36・B36	FB37	FB38	FB39	FB40	FB41	CB28
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面												
B x D	350 x 700	400 x 700	500 x 700	600 x 900	600 x 900	400 x 900	800 x 900	500 x 900	400 x 950	400 x 1100	400 x 1750	500 x 700
上端筋	4 - D19	4 - D22	6 - D22	6 - D25	8 - D25	4 - D22	10 - D25	8 - D25	4 - D22	5 - D22	6 - D25	6 - D22
下端筋	4 - D19	4 - D22	6 - D22	6 - D25	8 - D25	4 - D22	10 - D25	8 - D25	4 - D22	5 - D22	6 - D25	6 - D22
あばら筋	□-D10 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @150	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200
腹筋	2 - D10	2 - D10	2 - D10	4 - D10	4 - D10	4 - D10	4 - D10	4 - D10	4 - D10	4 - D10	8 - D13	2 - D10
備考												

壁断面リスト 1/60

符号	W15	W20	W20A	EW50	FW50
壁断面					
壁厚	150	200	200	500	500
縦筋	D10 @150 (ダブルチドリ)	D13 @200 (ダブル)	D13 @100 (ダブル)	D22 @150 (ダブル)	D22 @150 (ダブル)
横筋	D10 @150 (ダブルチドリ)	D13 @200 (ダブル)	D13 @100 (ダブル)	D22 @150 (ダブル)	D22 @150 (ダブル)
開口補強筋	縦筋	2 - D10	2 - D13	4 - D22	4 - D22
	横筋	2 - D10	2 - D13	4 - D22	4 - D22
	斜筋	1 - D10	1 - D13		
幅止め筋		D10 @1000	D10 @1000	D10 @1000	D10 @1000
備考					

スラブリスト

特記なき限り
 ・DS**は、コンクリート型枠用合板を使用する。但し、監督職員と協議し、床型枠用調整デッキプレートの使用について承諾を受けた場合、DS**の範囲に限り使用を可とする。尚、DS**を使用している範囲は図による。
 ・S** (DS**) の地床は、捨てコンクリート t=50 砕石 t=60 とする。

符号	版厚	位置	短辺方向	長辺方向	備考	符号	版厚	位置	短辺方向	長辺方向	備考
DS20	200	上端筋	D10,13 @200	D10,13 @200		CS20C	200	上端筋	D13 @100	D13 @100	
		下端筋	D10,13 @200	D10,13 @200				下端筋	D13 @100	D13 @100	
S20B DS20B	200	上端筋	D13 @200	D13 @200		CS20D	200	上端筋	D13 @100	D13 @150	
		下端筋	D13 @200	D13 @200				下端筋	D13 @100	D13 @150	
S20C DS20C	200	上端筋	D13 @100	D13 @100		CS27D	270	上端筋	D13 @100	D13 @150	
		下端筋	D13 @100	D13 @100				下端筋	D13 @100	D13 @150	
S25B	250	上端筋	D13 @200	D13 @200							
		下端筋	D13 @200	D13 @200							

国東サテライトセンター整備事業 (設計・プラント工事)

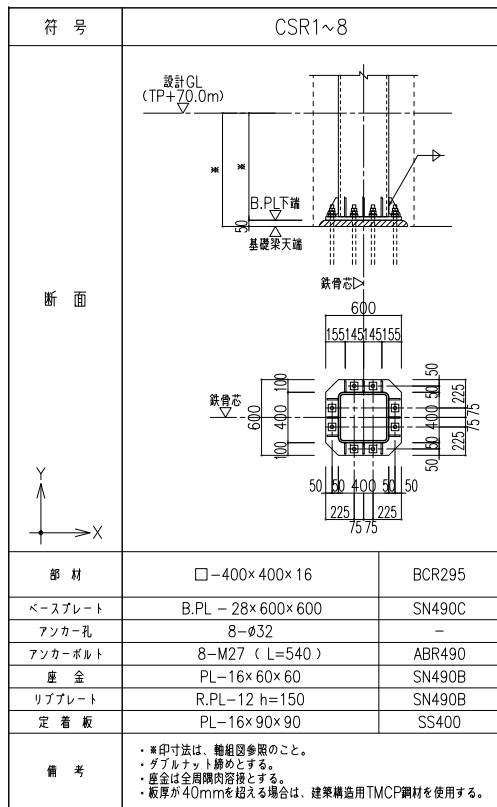
APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1	K60940	断面リスト-3
	60	CUSTOMER	(大梁、基礎小梁及び小梁、壁、スラブ)
CHECK	DRAWN BY	MODEL	DWG. No.
奥村	安立		RJA3-W0362

DATE	REFERENCE No.
'23.11.30	S-050
CADファイル名 AUTOCAD	

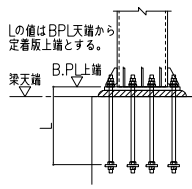


鉄骨部材リスト		特記なき限り		鋼材材質は、SS400とする。		溶接を行う場合は、鋼材の材質をSN材と読み替えるものとする。	
		・ボルトは、高力ボルトS10Tとする。		・Iの内数値は、有効細長出入を示す。			
		・板厚が40mmを超える場合は、建築構造用TMCP鋼材を使用する。					
部位	符号	部材	備考	部位	符号	部材	備考
柱	SCB4016	□-400×400×16 [54.9]	鋼材 BCR295	脚柱	SP150	H-150×150×7×10	
					SP24	H-244×175×7×11	
大梁	SG40	H-400×200×8×13	鋼材 SN400B				
	SG39	H-390×300×10×16	鋼材 SN400B				
	SG58	H-588×300×12×20	鋼材 SN400B	吊り材	TP1	□-100×50×5×7.5	
片桁梁	SCG39	H-390×300×10×16	鋼材 SN400B 溶融亜鉛めっき処理及び 溶融亜鉛めっき高力ボルトF8Tとする	水平ブレース	HV20	1-M20 (ターンバックル付き)	鋼材 SNR400B
					HV75	L-75×75×6	
小梁	SB125	H-125×125×6.5×9	溶融亜鉛めっき処理及び 溶融亜鉛めっき高力ボルトF8Tとする	折板受け材	-	C-100×50×20×3.2	鋼材 SSC400
				ホイストレール及び墜落防止設置用レール受け材			
				墜落防止設置用 レール受け材	SB194	H-194×150×6×9	G.PL-9, 2-M20 (HTB), R.PL-9
				吊り材	T65	L-65×65×6	G.PL-9, 2-M16 (HTB)
				方杖	V65	L-65×65×6	G.PL-9, 2-M16 (HTB)
				軸ブレース	V20	1-M20 (ターンバックル付き)	鋼材 SNR400B
鉄骨階段部							
耐風梁	HB100	H-100×100×6×8	横使い	鉄骨サマツ折	-	□-250×50×4 (軽鋼形鋼)	鋼材 SSC400 溶融亜鉛めっき処理 G.PL-6, 2-M16 (HTB) 溶融亜鉛めっき高力ボルトF8Tとする RC梁に取付く場合: B.PL-9×200×200 4-φ16@120 (横付きスタッド) L=100 折脚の場合: B.PL-6×300×100 A.BOLT 1-M16 L=200 (フック付き)
				HB125	H-125×125×6.5×9	横使い	
				HB150	H-150×150×7×10	横使い	
				HB24	H-244×175×7×11	横使い	

柱脚断面リスト 1/60



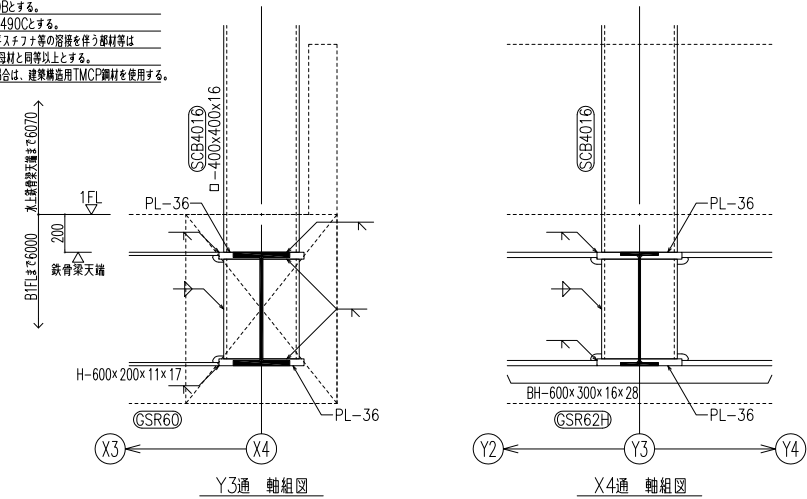
アンカーボルト長要領



Y3/X4通 鉄骨柱梁接合部詳細図 1/40

特記なき限り下記による

- 鋼材材質は、柱はBCR295とする。
- 大梁SN400Bとする。
- 通しダイヤフラムは、SN490Cとする。
- ガセットプレート及び水平スタッド等の溶接は厚手鋼材とする。
- SN材と読み替える。取り付く母材と同等以上とする。
- 板厚が40mmを超える場合は、建築構造用TMCP鋼材を使用する。



継手標準

1. ボルトの種類

(1) 高力ボルト
高力ボルトの種類は、JIS B1186『摩擦接合用高力六角ボルト、六角ナット、平座金のセット』(2種F10T)の規格品並びに建築基準法に基づき認定された特殊高力ボルト(2種S10T)及び溶融亜鉛メッキ高力ボルト(1種F8T相当)とする。

(2) 普通ボルト
普通ボルトは、以下の組合せによる中3種の規格品とし、ねじは、JISB0205『メートル並目ねじ』とする。
六角ボルト: JIS B1180 I 六角ナット: JIS B1181
ワッシャー: JIS B1256『平座金』の磨き丸

2. ボルト孔の径

ボルトの種類	ねじの呼び	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト (F10T, S10T)	14.0	18.0	22.0	24.0	26.0	
溶融亜鉛メッキ高力ボルト (F8T)	14.0	18.0	22.0	24.0	26.0	
普通ボルト	12.5	16.5	20.5	22.5	24.5	

3. ボルトの締付け長さに加える長さ

ねじの呼び	M12	M16	M20	M22	M24
締付け長さに加える長さ	25	30	35	40	45

4. 縁端距離及びボルト間隔

ねじの呼び	縁端距離 e (単位:mm)	ボルト間隔 p (単位:mm)
M16	40	60
M20		
M22		
M24	45	70

5. 千鳥打ちのゲージ及び間隔

ゲージ g	千鳥打ちの間隔 (p)		
	M16, M20, M22	M24	
35	50	65	
40	45	60	
45	40	55	
50	35	50	
55	25	45	
60	-	40	

6. 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

AあるいはB		g1	g2	最大軸径	B	g1	g2	最大軸径	B	g1	g2	最大軸径
65	35			20	100*	56		16	40	24		10
70	40			20	125	75		16	50	30		12
75	40			22	150	90		22	65	35		20
80	45			22	175	105		22	70	40		20
90	50			24	200	120		24	75	40		22
100	55			24	250	150		24	80	45		22
125	50	35		24	300	150	40	24	90	50	24	24
130	50	40		24	350	140	70	24	100	55	24	24
150	55	55		24	400	140	90	24				24
175	60	70		24								
200	70	80		24								
250	85	95		24								

1. 十両鋼のB=300は、千鳥打ちした時のゲージ標準である。

2. *印のg、及び最大軸径の値は、強度上支障がない場合で、最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

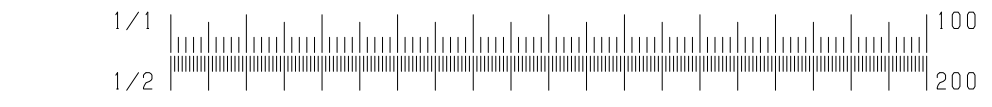
7. フィラプレート (日本建築学会「鋼構造許容応力度設計規準2019」より)

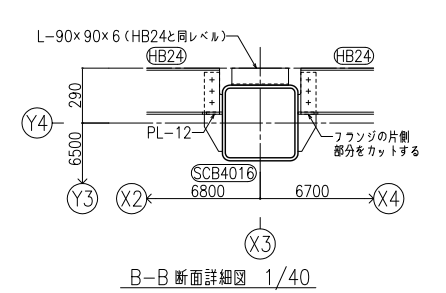
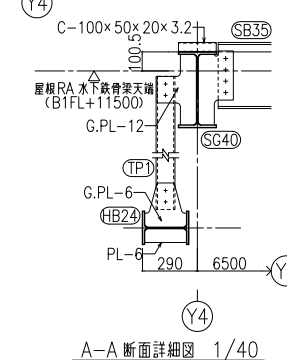
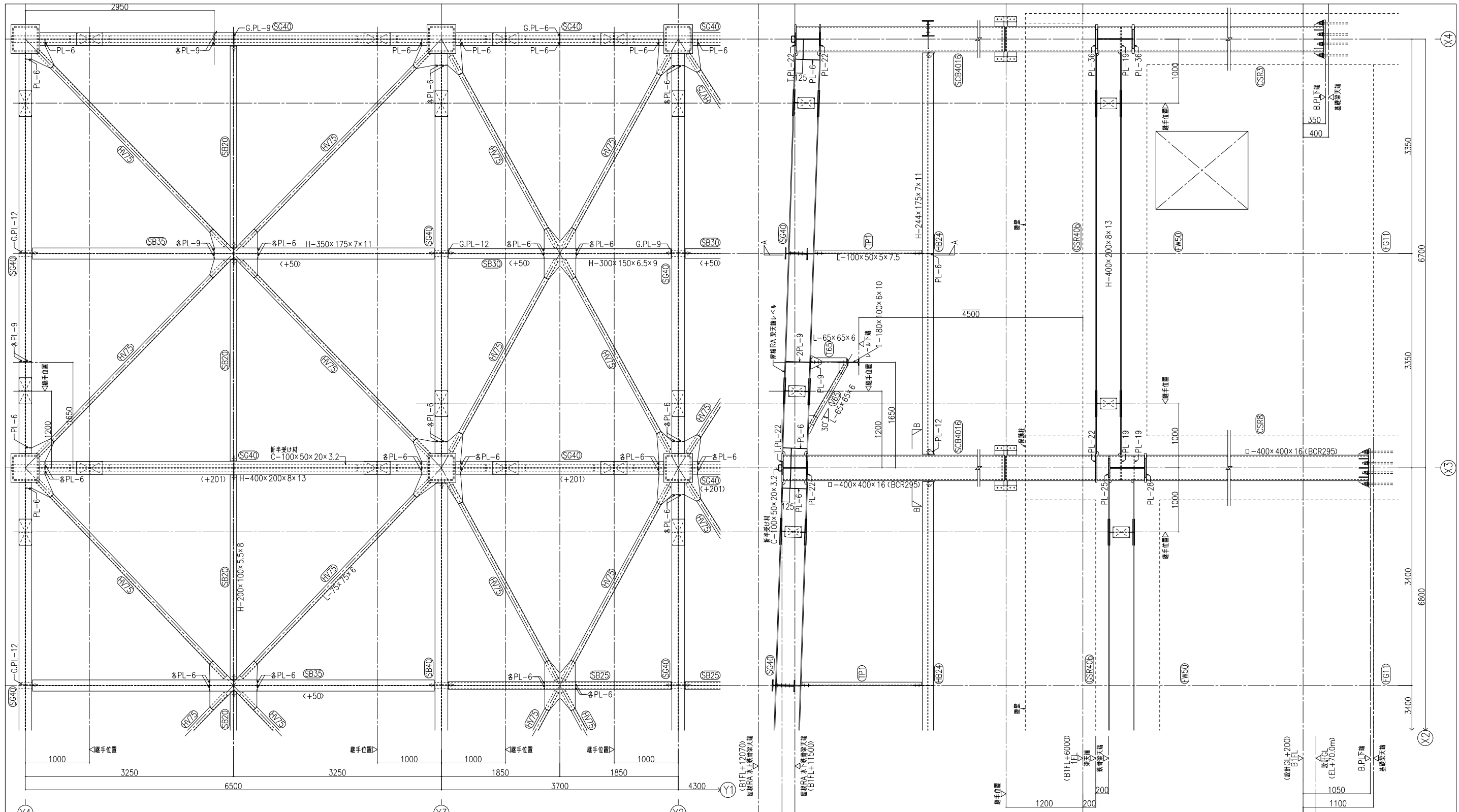
- 添板を用いた接合部で母材に板厚差がある場合はフィラーを用いる。フィラーは母材の片面で4板以上重ねて用いてはならない。
- 高力ボルト摩擦接合で母材の板厚差が1mm以下の場合は、(1)の規定にかかわらずフィラーを用いなくてよい。板厚差が1mmを超える場合は、母材と同等の表面処理を行ったフィラーを用いる。フィラーの材質は、母材及び添板の材質と同等以上とする。
- ボルト接合で用いるフィラーの厚さは6mm未満とする。ただし、ボルトへの二次曲げの影響を考慮してボルトの許容せん断応力を低減した場合は、厚さ(母材の表面面にかかわらず)2板以上フィラーを用いる場合は、その総和)6mm以上のフィラーを用いることが出来るが、6mm以上となる場合は特記による。
- フィラプレートの厚さは、下記とする。

板厚差 g	1.1~2	3~4	5	6~7	8~10	11~13	14~15	16~17
フィラプレートの厚さ	1.6	3.2	4.5	6	9	12	14	16

国東サテライトセンター整備事業 (設計・プラント工事)

APPROVED 鈴木	SCALE 1/60	ORDER K60940 CUSTOMER 宇佐・高田・国東広域事務組合	DRAWING NAME 断面リスト-4 (鉄骨部材、柱脚、アンカーボルト長要領、継手標準)
CHECK 奥村	DRAWN BY 安立	MODEL	DWG. No. RJA3-W0363



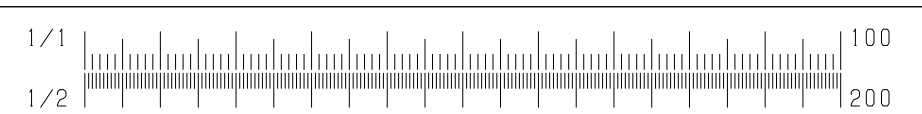


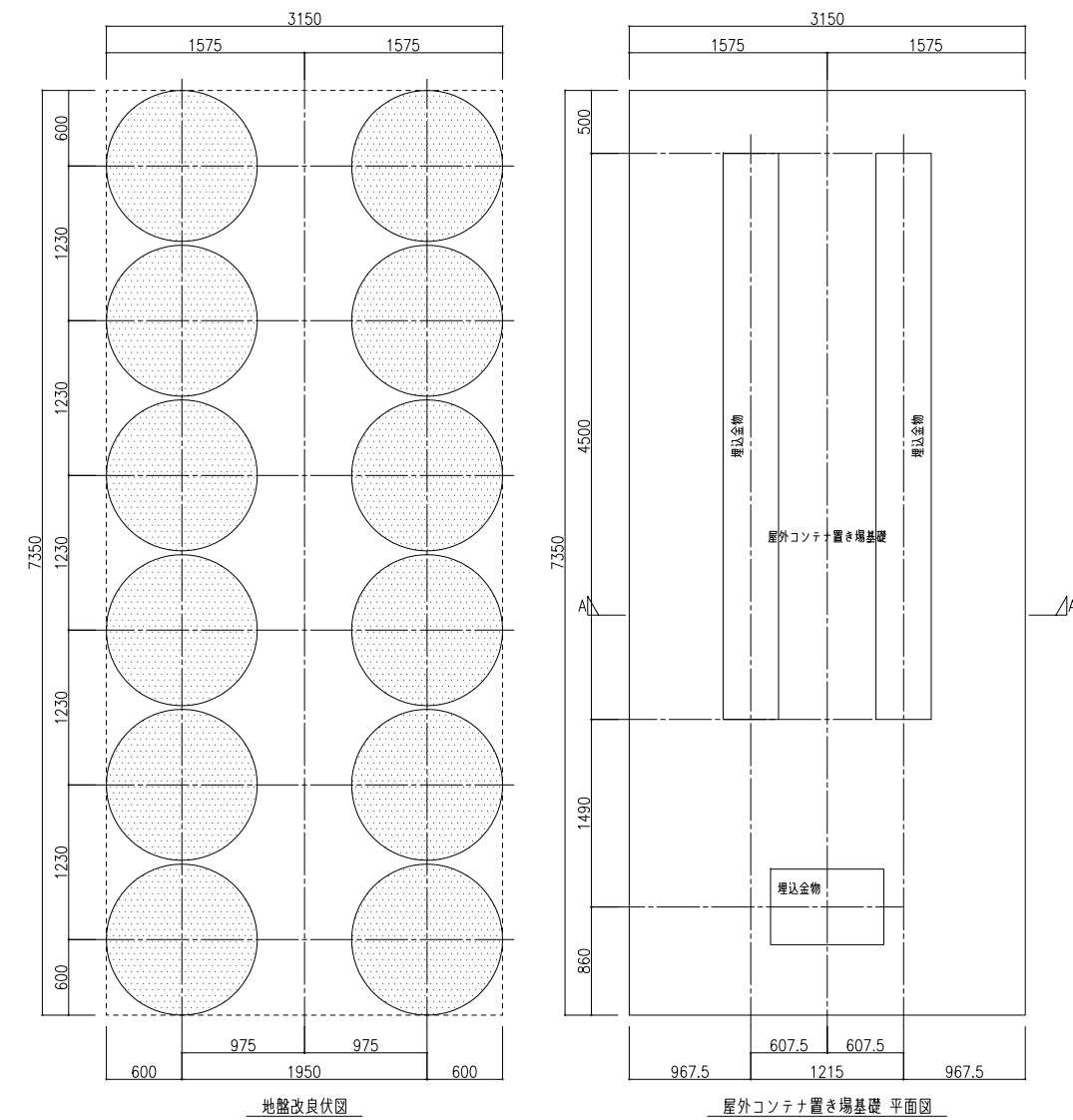
鉄骨架構詳細共通事項

特記なき限り下記による

- ・梁天端レベルは、屋根RA 梁天端レベルとする。
- ・() 内数値は、屋根RA 水下鉄骨梁天端からの梁天端レベルを示す。
- ・< > 内数値は、取付く大梁及び小梁からの梁天端レベルを示す。
- ・水平プレートは、屋根RA 梁天端レベルに125とする。
- ・鋼材種は、大梁SN400Bとし、小梁、その他はSS400とする。
- ・鋼スライヤワームは、SN490Cとし、
- ・内スライヤワームは、SN490Bとする。
- ・ボルトは、S10T (H.T.B) とする。
- ・ガットプレート及び水平スチフナー等の溶接を伴う部材等はSMA材とし、取り付く母材と同種以上とする。
- ・ベースプレートは、SN490Cとする。
- ・アンカボルトは、ABR490とする。
- ・板厚が40mmを超える場合は、建築構造用TMCP鋼材を使用する。

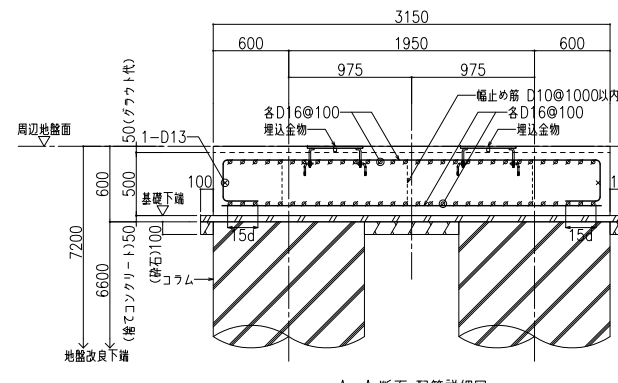
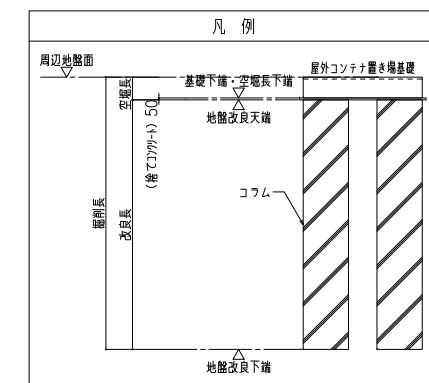
国東サテライトセンター整備事業 (設計・プラント工事)			
APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1/40,60	K60940	鉄骨詳細図
CHECK	DRAWN BY	MODEL	CUSTOMER
奥村	安立		宇佐・高田・国東広域事務組合 様
DWG. No.			RJA3-W0364





地盤改良伏図

屋外コンテナ置き場基礎 平面図



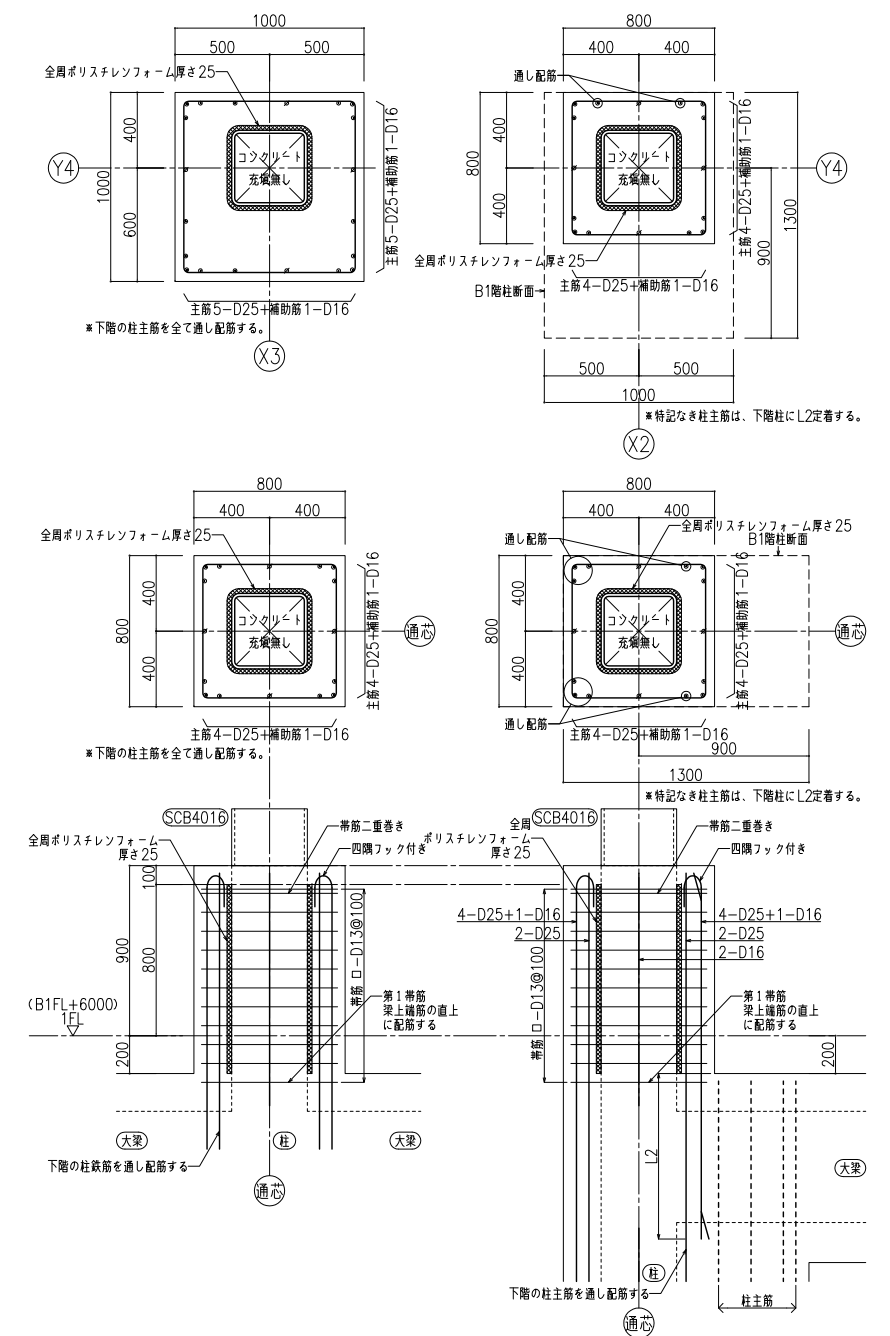
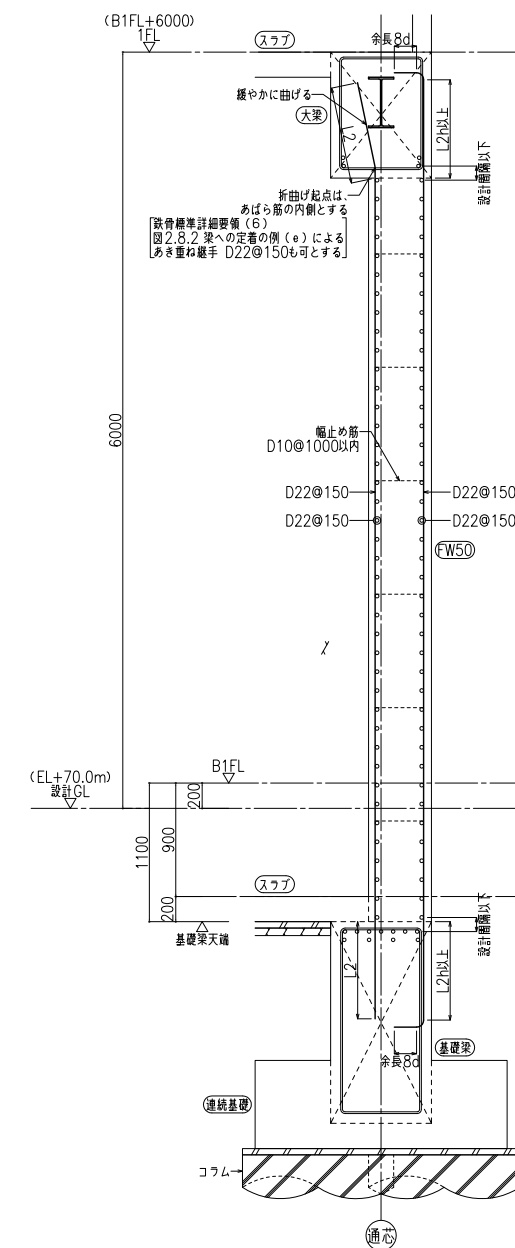
A-A断面 配筋詳細図

工法	エスキコウム工法
設計基準強度	$F_c=950\text{kN/m}^2$
改良径	$\phi 1200$

使用材料	
・コンクリート強度: $F_c=21\text{N/mm}^2$	
・所要スパン: 18cm	
・使用鉄筋: D16以下	SD295

記号	総割長 (m)	空割長 (m)	改良長 (m)	本数 (本)	備考
●	7.2	0.6	6.6	12	

- 共通事項
- 特記なき限り下記による。
 - 空割長下値レベルは、周辺地盤面+600とする。
 - 改良下値レベルは、総割長下値レベルとする。
 - 印部コラムの地盤改良下値レベルは、周辺地盤面-7.2mとする。
 - 支持層は、改良化凝灰土 (L-1F) 層とする。
 - 支持層により改良下値レベルを変更する場合は監督職員と協議の上、決定の事。

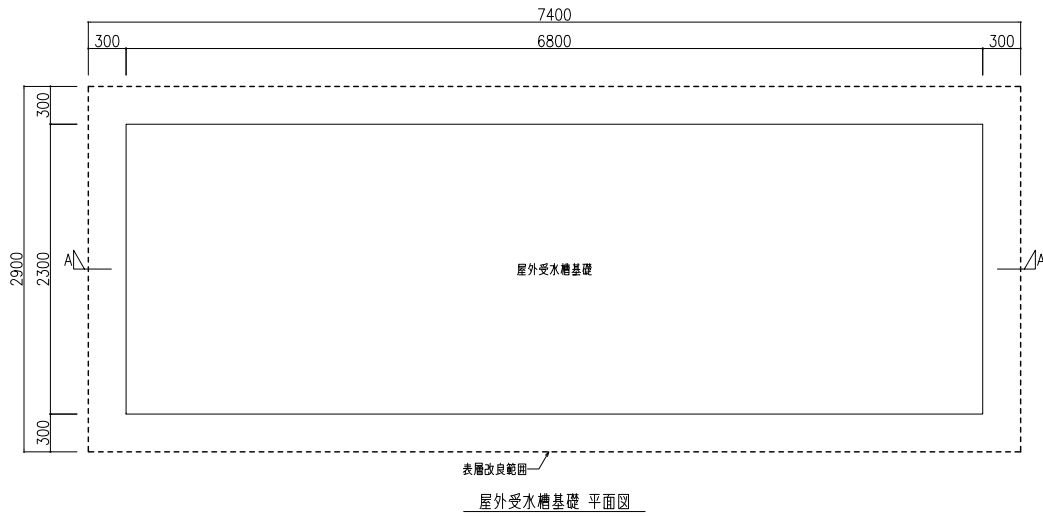


国東サテライトセンター整備事業 (設計・プラント工事)

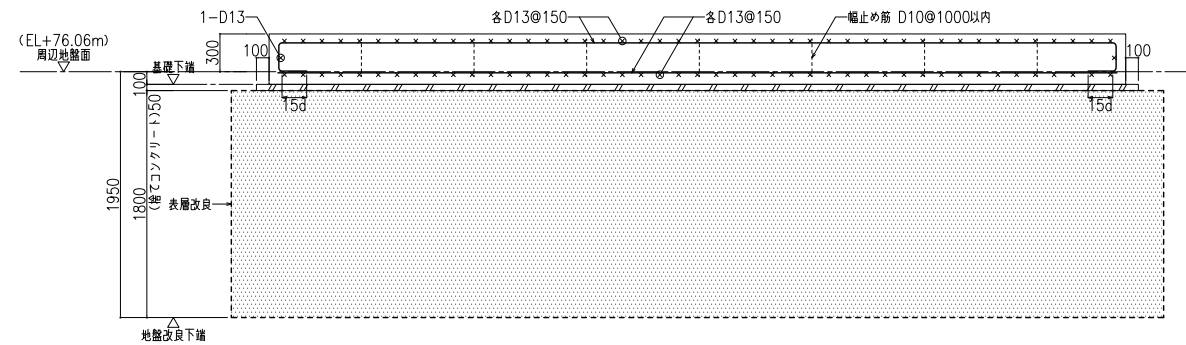
APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1/40,60	K60940	雑詳細図-1
CHECK	DRAWN BY	MODEL	DWG. No.
奥村	安立		RJA3-W0367

DATE	REFERENCE No.
'23.11.30	S-061





屋外受水槽基礎 平面図

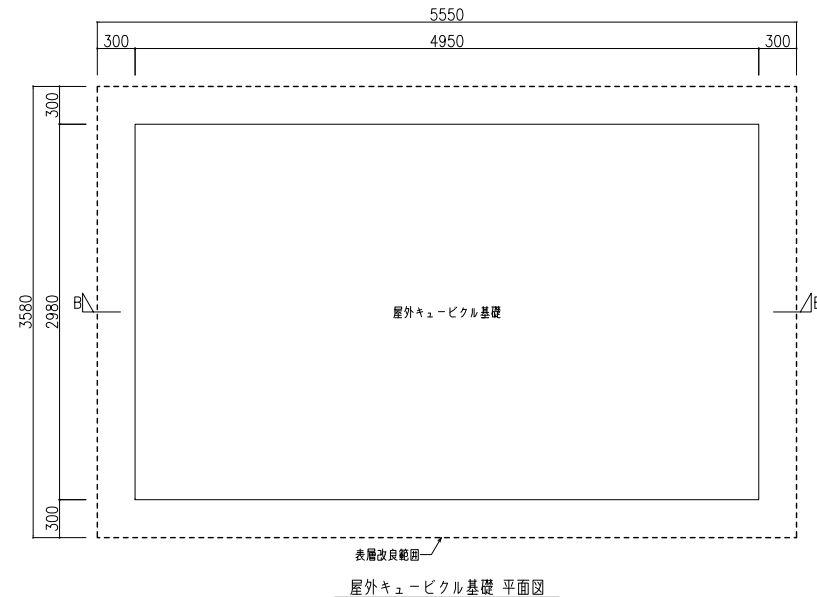


使用材料	
・コンクリート強度: $F_c=21N/m^2$	
・所要スラブ: 18cm	
・使用鉄筋: D16以下 SD295	

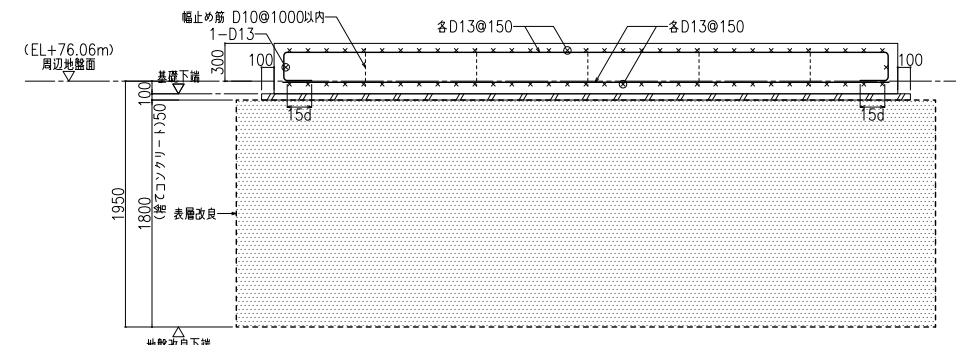
工法	セメントを用いた表層混合処理工法による地盤改良
設計基準強度	$F_c=150kN/m^2$
固化材配合量	セメント系固化材 80kg/m ³

A-A断面 配筋詳細図

地盤改良仕様	
・表層改良(粉体式)とする。	
・基礎下端レベルの長期地圧50kN/m ² とする。	
・地盤が長期許容支持力以上確保されているか乎取扱い等にて検査確認し、監理職員の承認を受けること。	



屋外キュービクル基礎 平面図

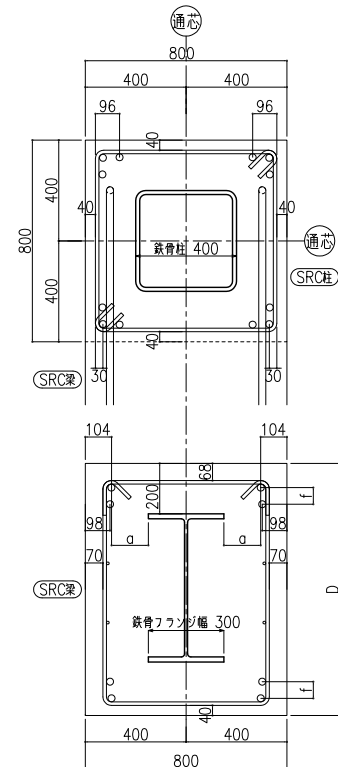


使用材料	
・コンクリート強度: $F_c=21N/m^2$	
・所要スラブ: 18cm	
・使用鉄筋: D16以下 SD295	

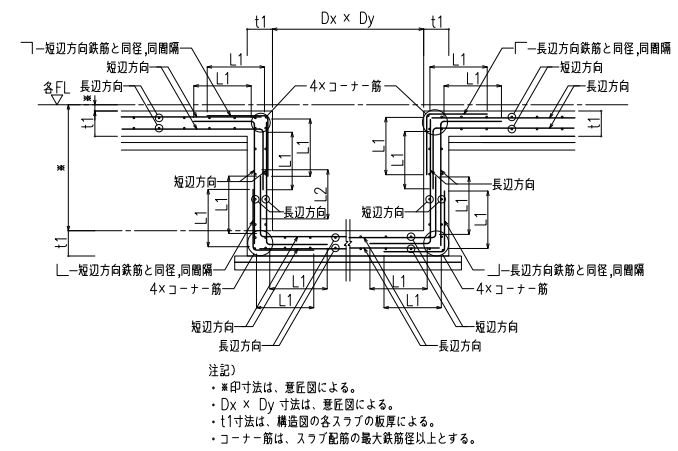
工法	セメントを用いた表層混合処理工法による地盤改良
設計基準強度	$F_c=150kN/m^2$
固化材配合量	セメント系固化材 80kg/m ³

B-B断面 配筋詳細図

地盤改良仕様	
・表層改良(粉体式)とする。	
・基礎下端レベルの長期地圧50kN/m ² とする。	
・地盤が長期許容支持力以上確保されているか乎取扱い等にて検査確認し、監理職員の承認を受けること。	



共通事項
 ・特記なき限り、適正な配筋とする。
 ・1印寸法は、最小鉄筋間隔以上とする。
 ・主筋とあばら筋のあき印寸法は、コンクリートのまわりを良くするため、パイプレーターの挿入可能とするために50mm以上を確保する。
 ・D印寸法は、断面径による。

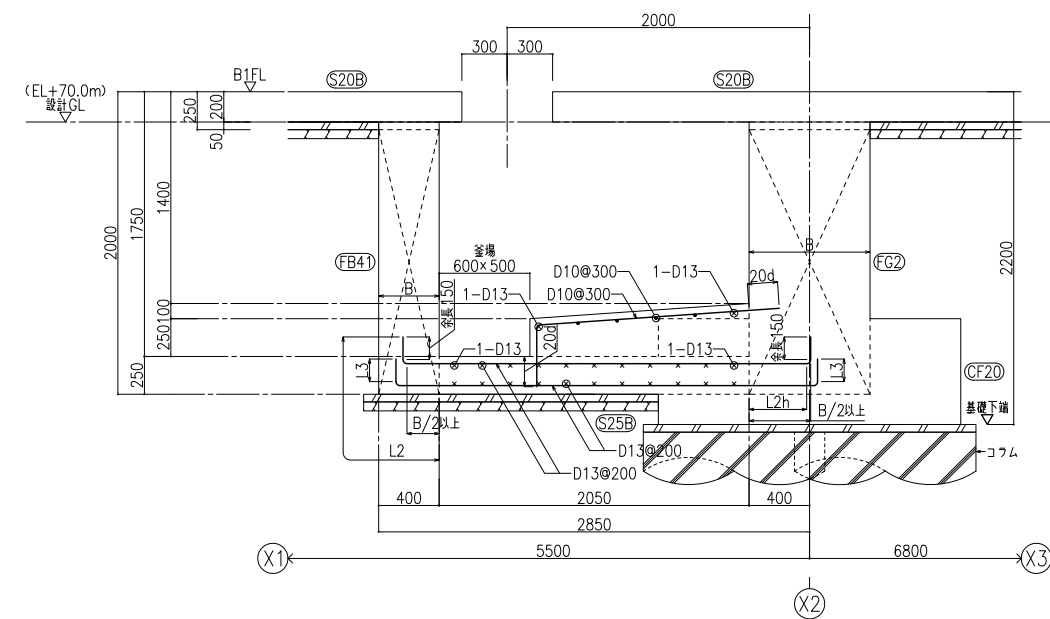
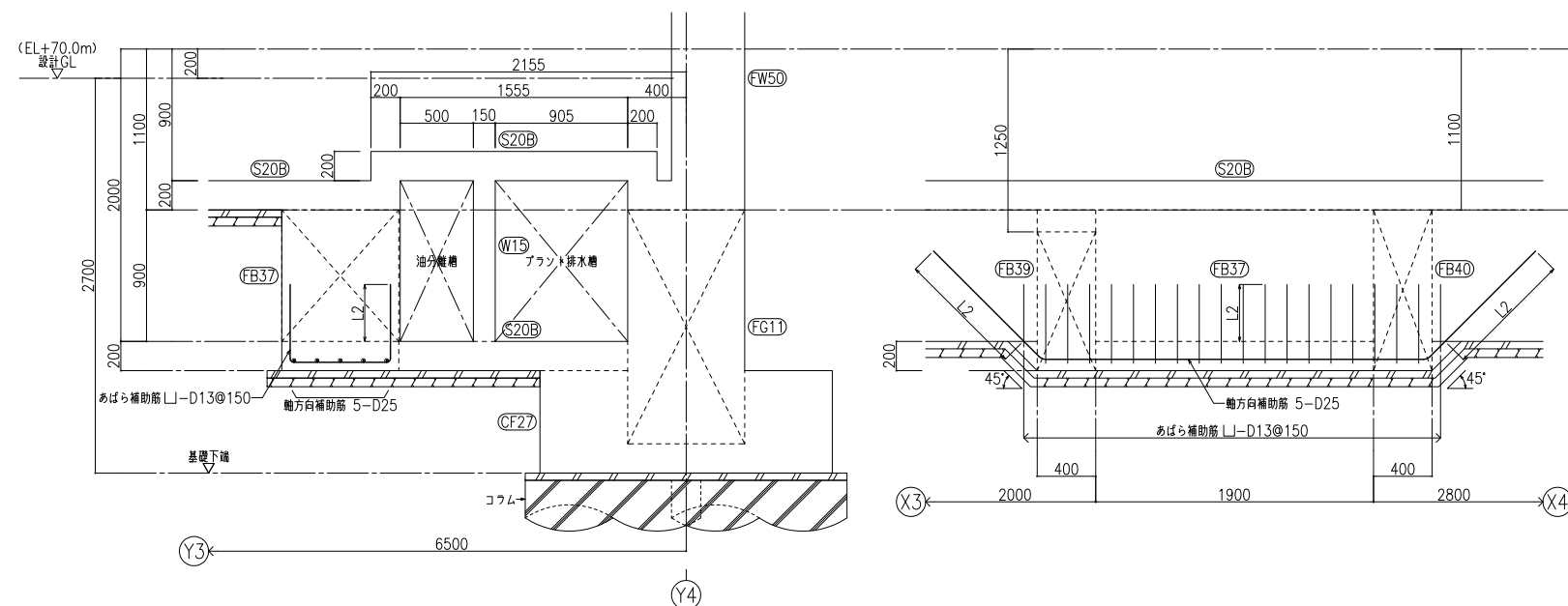
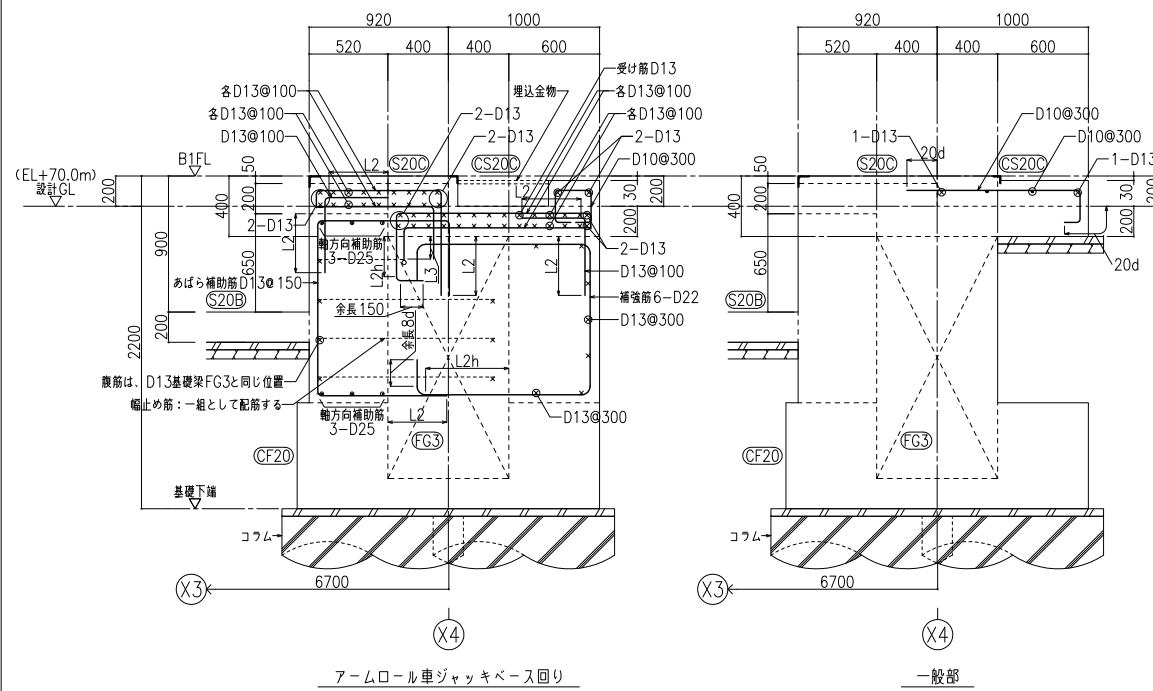
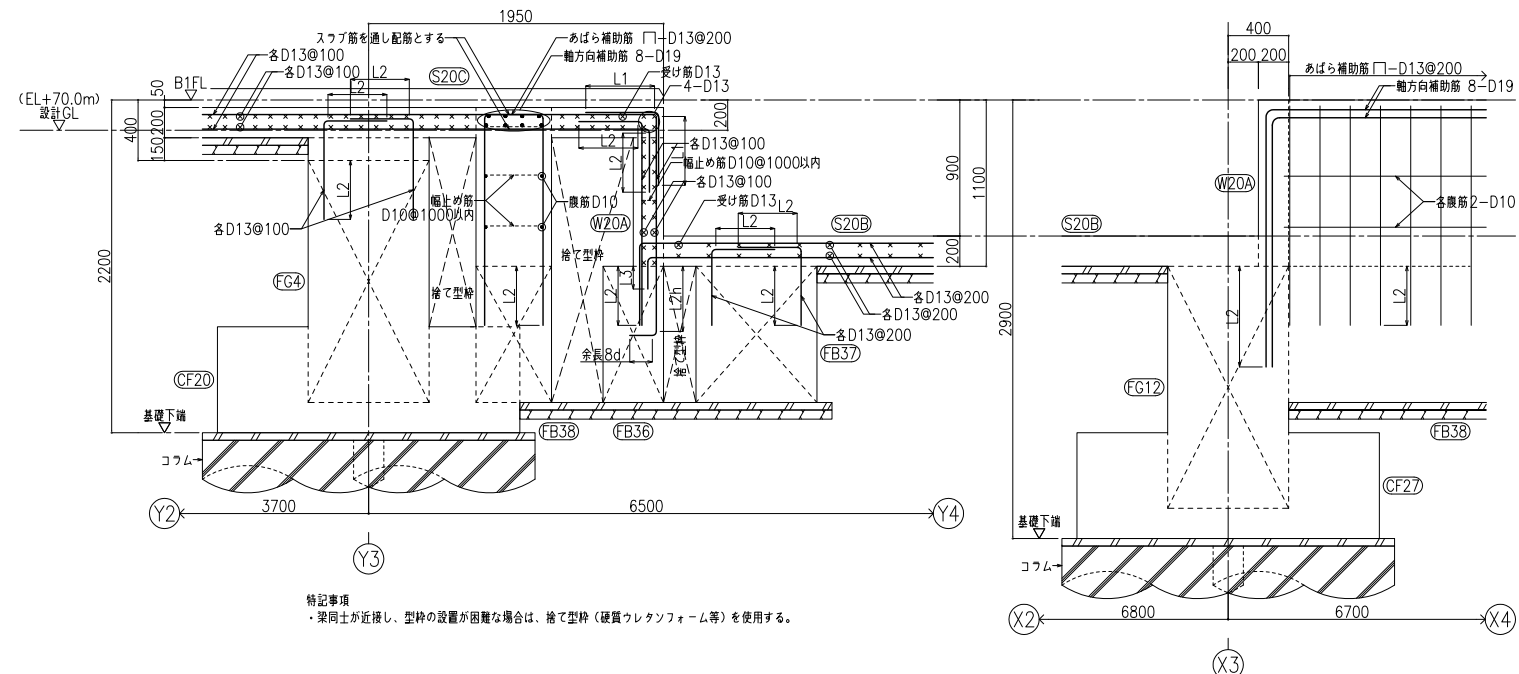


注記
 ・印寸法は、断面径による。
 ・Dx x Dy 寸法は、断面径による。
 ・t1寸法は、構造図の各スラブの厚さによる。
 ・コーナー筋は、スラブ配筋の最大鉄筋径以上とする。

国東サテライトセンター整備事業 (設計・プラント工事)

APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1/30,60	K60940	雑詳細図-2
CHECK	DRAWN BY	CUSTOMER	DWG. No.
奥村	安立	宇佐・高田・国東広域事務組合	RJA3-W0358





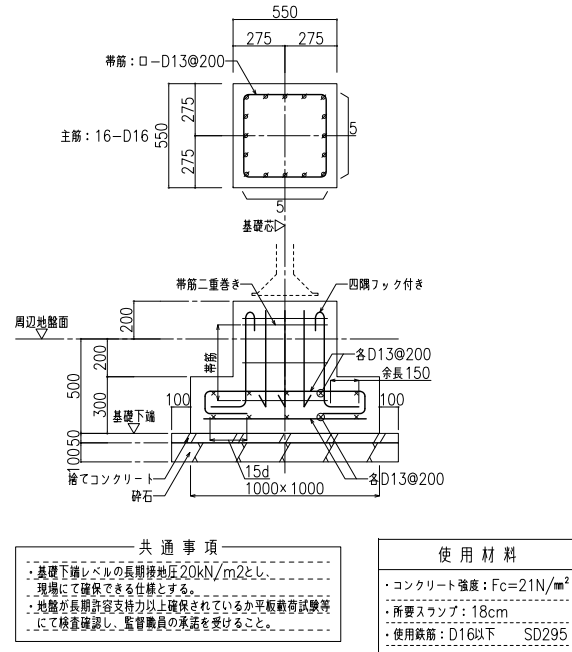
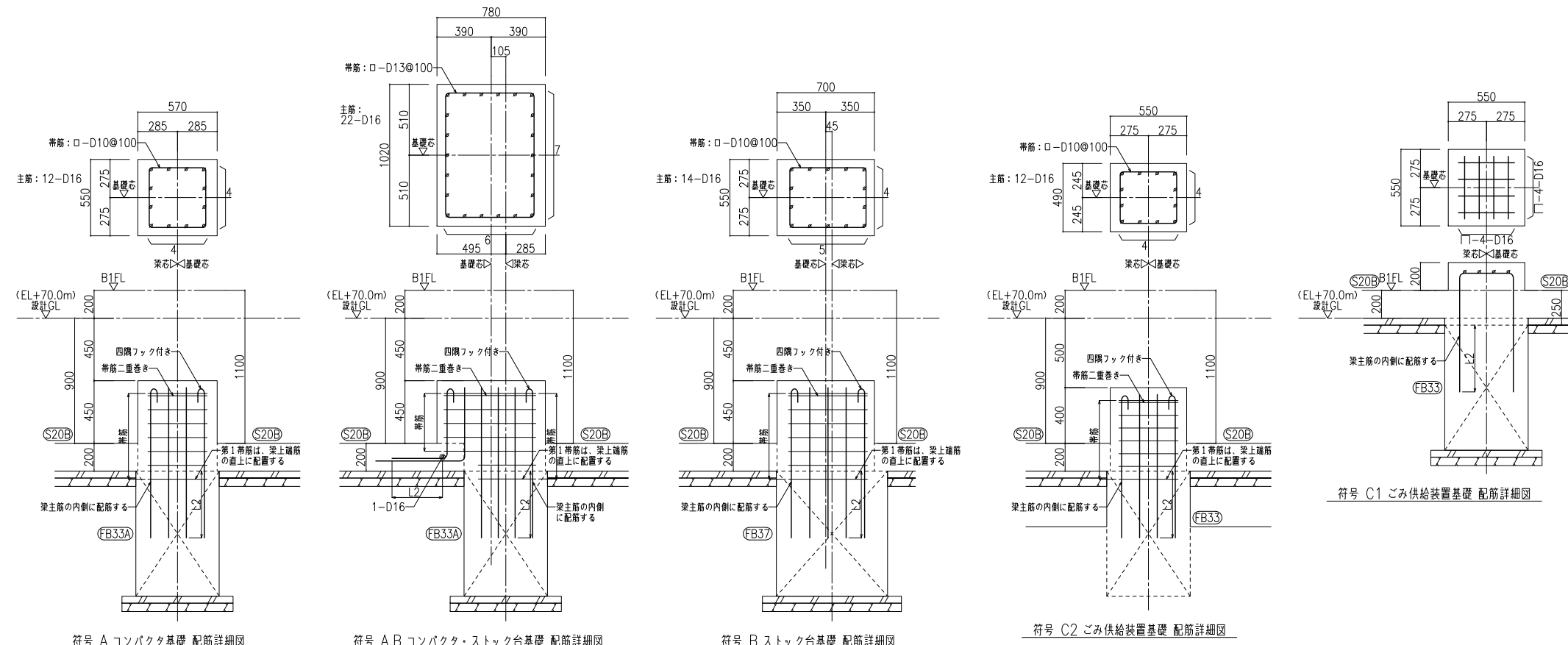
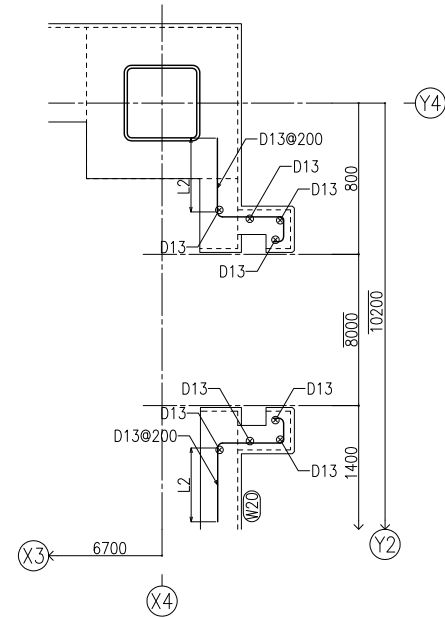
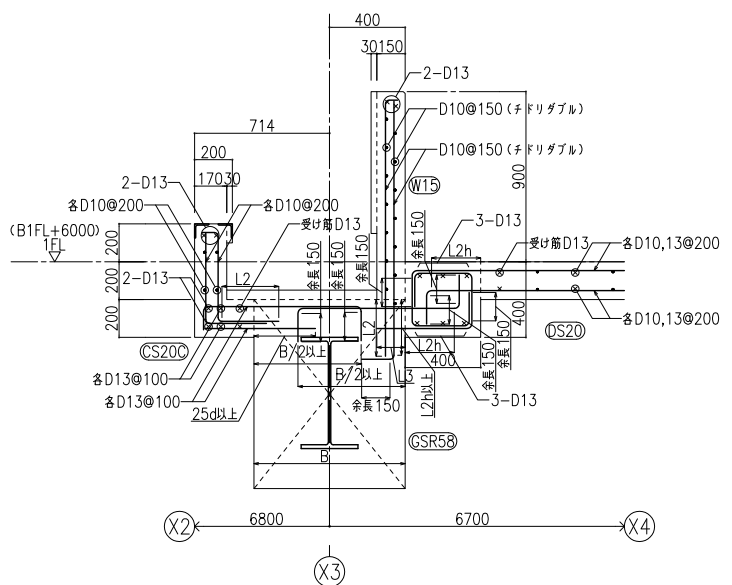
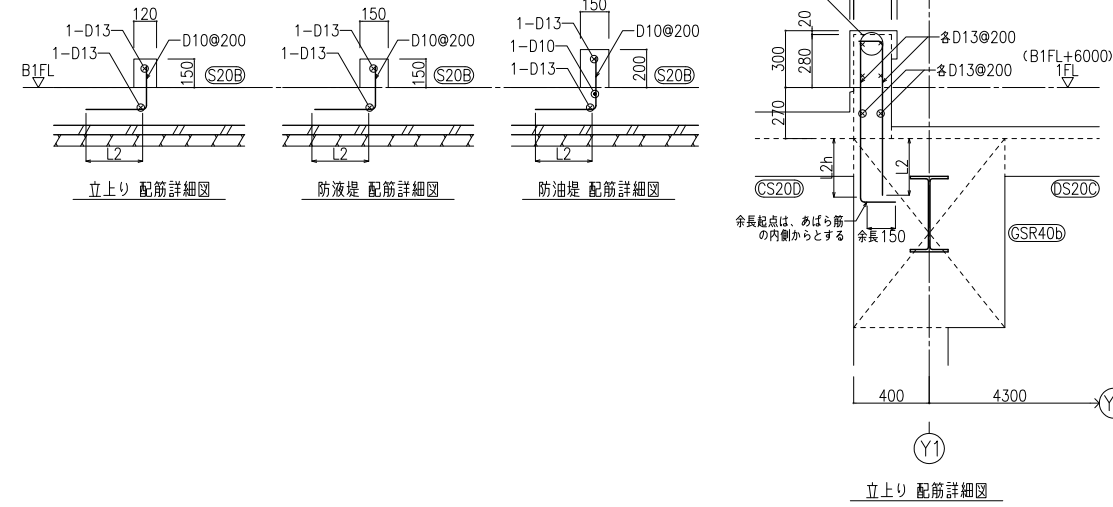
国東サテライトセンター整備事業（設計・プラント工事）

APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1/50	K60940	雑詳細図-3
CHECK	DRAWN BY	MODEL	DWG. No.
奥村	安立		RJA3-W0369

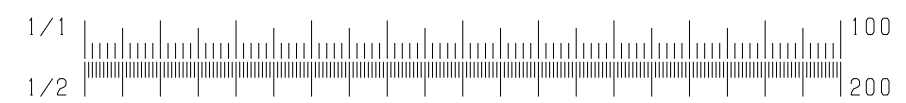
DATE	REFERENCE No.
'23.11.30	S-063

CADファイル名 AUTOCAD

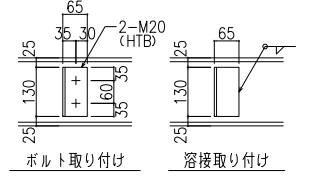
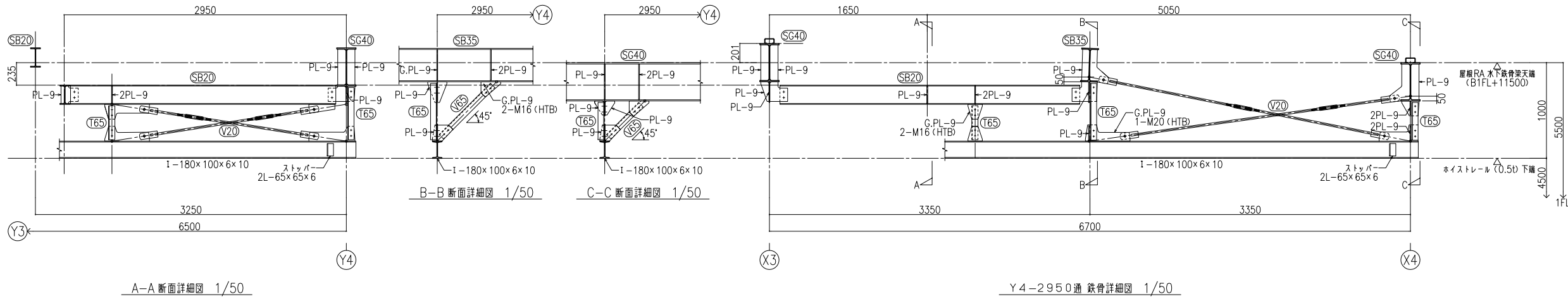




国東サテライトセンター整備事業（設計・プラント工事）			
APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1/40	K60940	雑詳細図-4
CHECK	DRAWN BY	MODEL	DWG. No.
奥村	安立		RJA3-W0370
			DATE
			'23.11.30
			REFERENCE No.
			S-064
			CADファイル名
			AUTOCAD

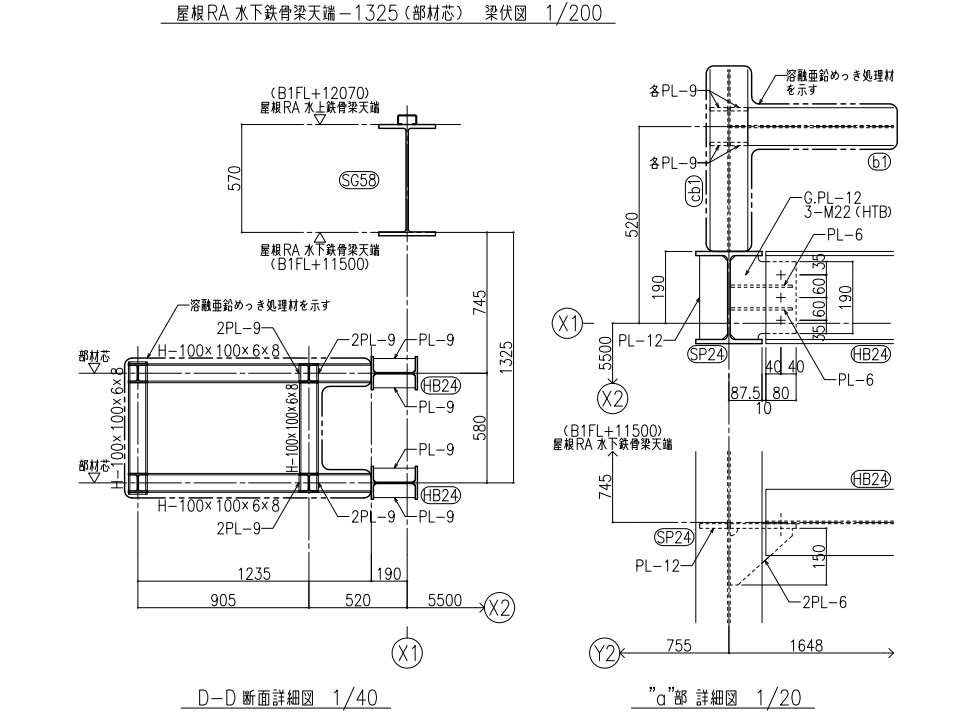
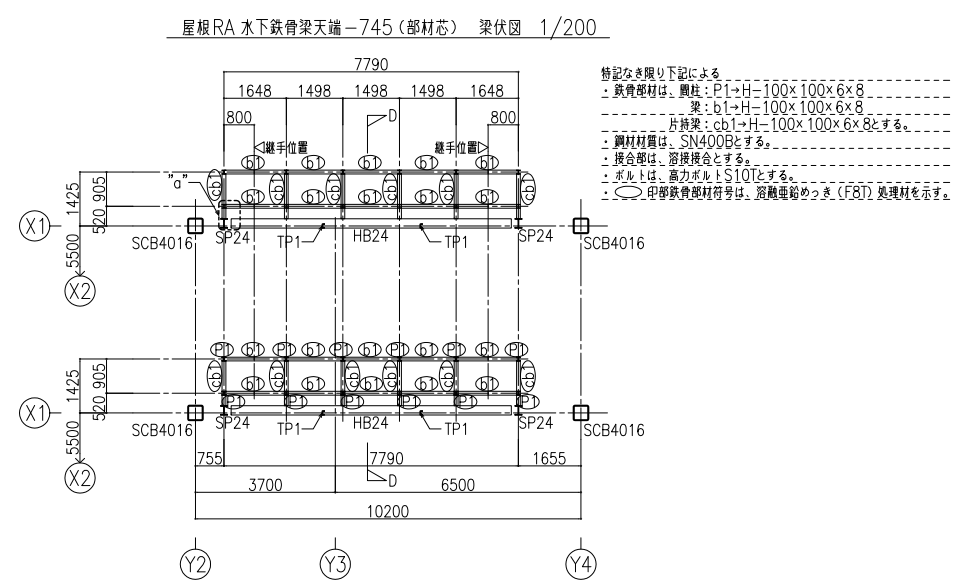


ホイストレールの納まり 鉄骨詳細図

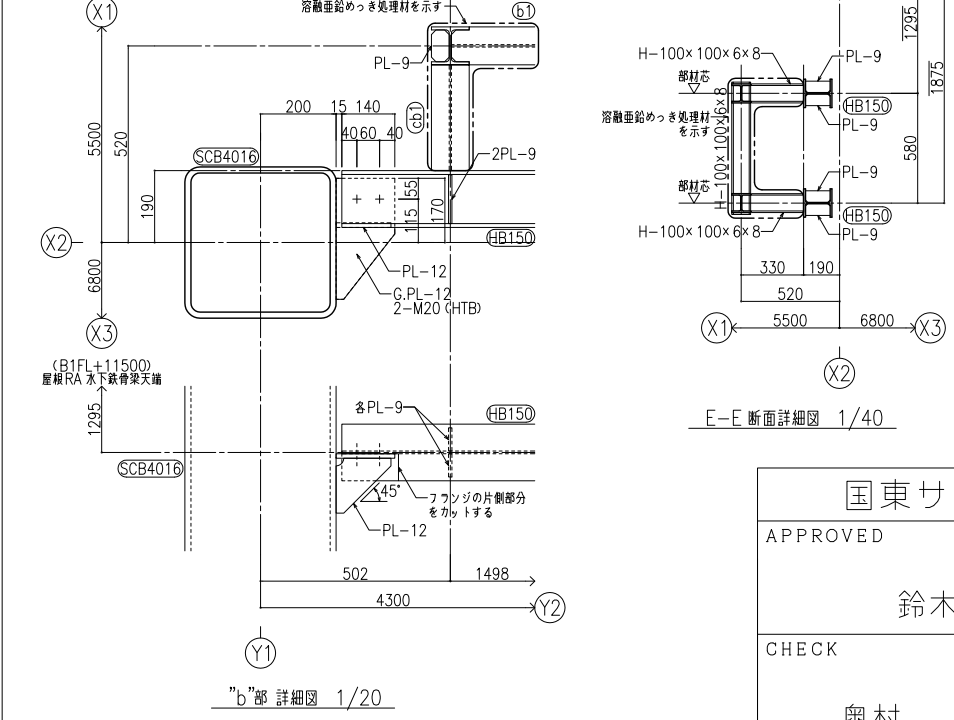
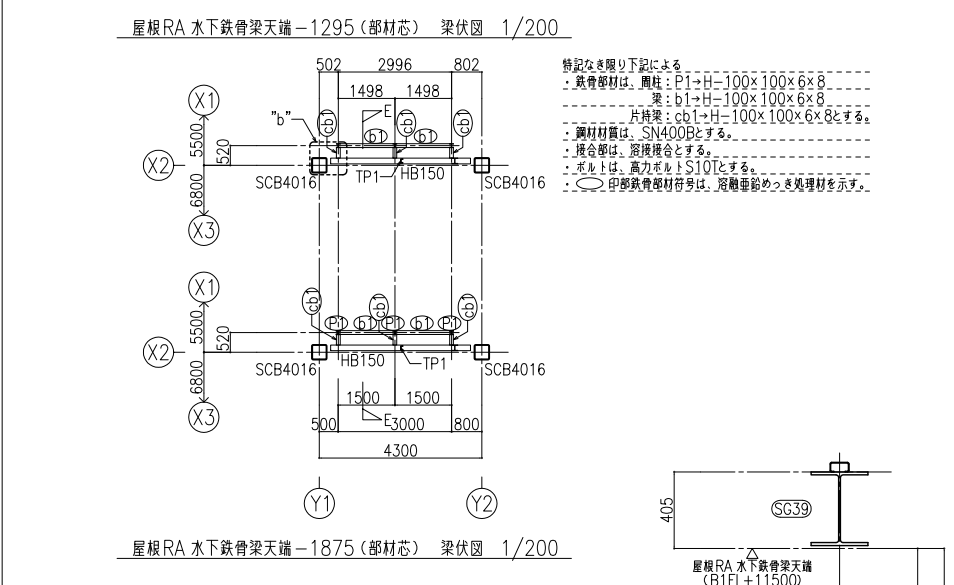


特記事項
・取り付け方法及び位置は、監督職員と協議の上、決定の事。

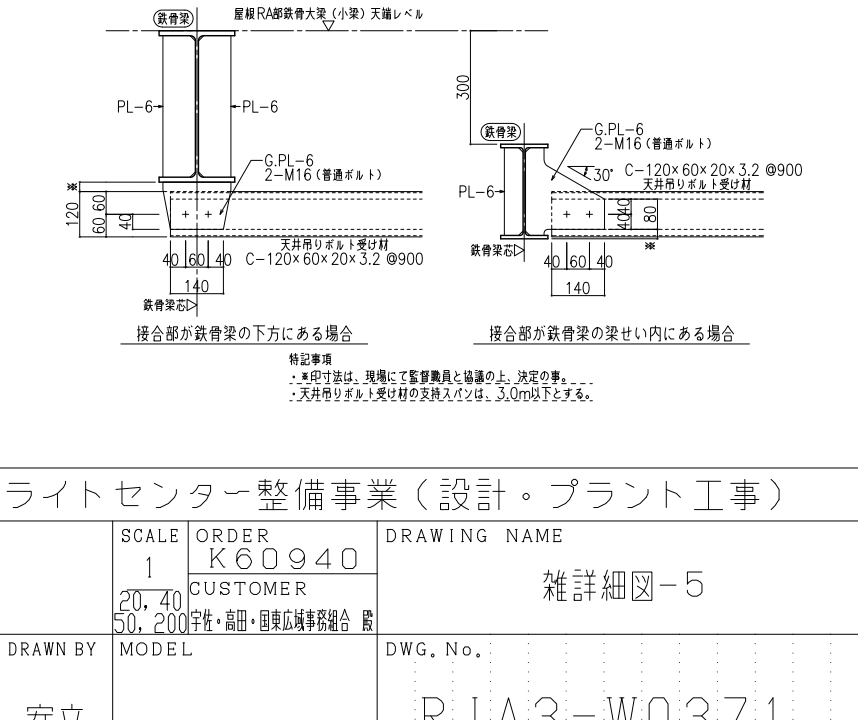
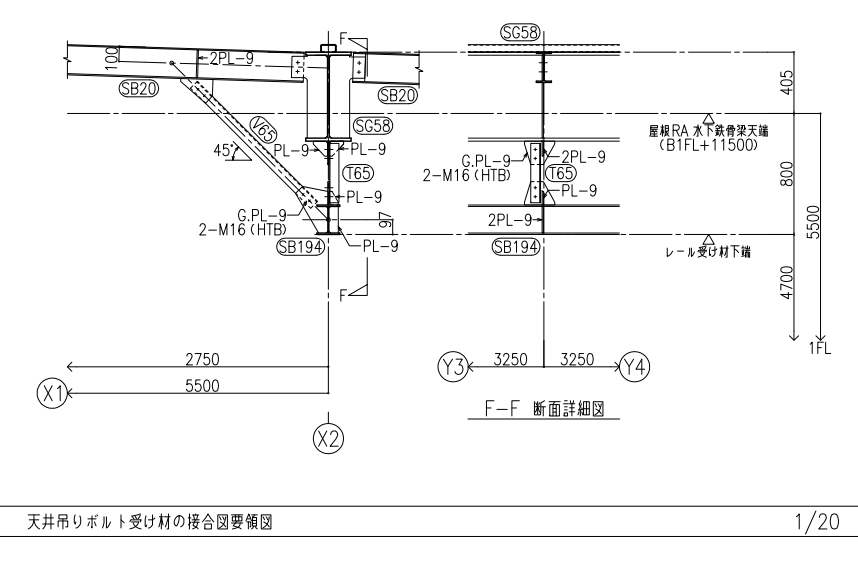
X1通 電動重量シャッター上部エアカーテン取り付けフレーム 鉄骨詳細図



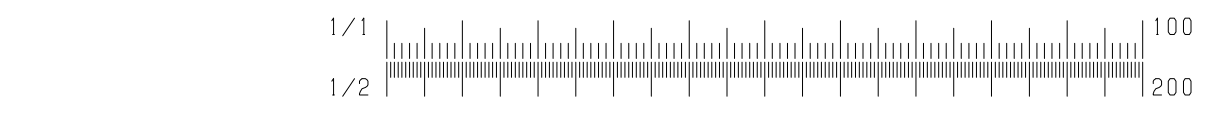
X2通 電動重量シャッター上部エアカーテン取り付けフレーム 鉄骨詳細図



墜落防止装置用レール受け材 鉄骨詳細図 1/50



国東サテライトセンター整備事業 (設計・プラント工事)			
APPROVED	SCALE	ORDER	DRAWING NAME
鈴木	1	K60940	雑詳細図-5
	20, 40	CUSTOMER	
CHECK	DRAWN BY	MODEL	DWG. No.
奥村	安立		RJA3-W0371



ShinMaywa Industries, Ltd.

DATE '23.11.30 REFERENCE No. S-065 CADファイル名 AUTOCAD